

重点目標 1 全世代の健康を支える看護機能の強化

重点事業1-1 地域における看護職の確保と活躍推進

事業内容

1. 保健師・助産師・看護師の確保と活躍推進

実施内容

1. 保健師の確保と活躍推進

- 1) 保健師の魅力発信イベント開催
- 2) 「看護への道フェア」における新人保健師の相談コーナーの設置

2. 助産師の確保と活躍推進

- 1) 性教育セミナーを通しての「助産師」の魅力発信
- 2) 助産師の魅力発信イベント開催

3. 看護師の確保と活躍推進

- 1) 病院、介護施設等のマッチングフェアの開催
- 2) 「看護への道フェア」「出前授業」等での魅力発信

実施報告

1. 保健師の確保と活躍推進

- 1) 令和7年2月8日、県内の看護系大学及び看護専門学校の周知協力を得て、昨年度に引き続き、「保健師の活動と魅力発信イベント及び個別相談会」を実施。県内15自治体担当職員が協力参加、看護学生等の参加は27名。令和5年度より、自治体及び看護学生の参加は増加。又、アンケート結果では、92%の看護学生等が「保健師の活動紹介」及び「個別相談」について、満足と回答
- 2) 「看護への道フェア」において今年度初めて、新人保健師の相談コーナーを設置
コーナーへの相談者は9名（主に高校生）

2. 助産師の確保と活躍推進

- 1) 性教育セミナーを通しての「助産師職」の魅力発信
小中高校生を対象に、学校の依頼により、性教育セミナーを実施。昨年度より、依頼校が増加（22校）。児童・生徒のアンケート結果において、助産師の認知度は80%以上
- 2) 助産師の魅力発信イベント開催
令和6年7月「国際助産師の日」の記念イベントを、みらい長崎ココウォークにて開催
参加者211名（大人118名子ども93名）性教育教材（胎児人形）を用いたコーナーが好評
「看護への道フェア」における新人助産師とのふれあいコーナー設置

3. 看護師の確保と活躍推進

- 1) 病院・介護施設等のマッチングフェア
関係者及び関係機関への理解及び周知までに至らず、令和6年度は未実施
- 2) 「看護への道フェア」での魅力発信
「看護への道フェア」参加人数111名
主に高校生の参加者が多く、看護職に興味があり、進路を考える上で参加している生徒が多数
災害支援ナース、保健師、助産師、看護師、訪問看護師、フライトナースなどのブースを設置し、
看護の魅力発信 新人看護職及び看護学生との相談コーナー設置
小中高校を対象に「出前授業」を10校にて実施

重点目標2 専門職としてのキャリア継続の支援

重点事業2-1 就業継続が可能な看護職の働き方の普及・支援

事業内容

1. 看護職員の待遇改善の推進
2. 看護業務効率化の推進
3. 多様で柔軟な働き方の提案

実施内容

1. 看護職員の待遇改善の推進
 - 1) 施設会員代表者・看護管理者等交流会での情報提供及び周知・検討
 - 2) 広報による情報提供と好事例の紹介
2. 看護業務効率化の推進
 - 1) ICT導入事例の紹介
 - 2) 「看護業務効率化取り組みガイド」の周知
3. 多様で柔軟な働き方の提案
 - 1) ナースセンターと連携した求人施設への働きかけ
 - 2) 多様で柔軟な働き方の提案と周知

実施報告

1. 看護職員の待遇改善の推進

- 1) 施設会員代表者・看護管理者等交流会での情報提供及び周知・検討
 - ・令和6年9月18日、施設会員代表者・看護管理者等交流会をハイブリットで開催
 - 4施設から「就業継続が可能な働き方の普及・支援」好事例の紹介 51施設65名参加
 - アンケートの結果「参考になった」100%、「活用できる」97%、
「すでに取り組んでいる・これから取り組む予定」94%
- 2) 広報による情報提供と好事例の紹介
 - ・1)の結果をホームページ、協会だより、会報で紹介
 - ・労働環境委員会による「就業継続が可能な職場に関する実態調査」実施、2,009名の回答をホームページ、協会だより、会報で紹介

2. 看護業務効率化の推進

- 1) ICT導入事例の紹介
施設会員代表者・看護管理者等交流会で情報提供
- 2) 「看護業務効率化取り組みガイド」の周知
各研修・交流会、各支部等で情報提供と周知の確認。認知度76%

3. 多様で柔軟な働き方の提案

- 1) ナースセンターと連携した求人施設への働きかけ
ナースセンターを中心に150の求人施設を訪問
- 2) 多様で柔軟な働き方の提案と周知
施設会員代表者・看護管理者等交流会で情報提供
令和7年1月23日第2回医療勤務環境改善セミナーにて情報提供

重点目標2 専門職としてのキャリア継続の支援

重点事業2-2 看護職のキャリアの構築支援

事業内容

1. ナースセンターの強化策の検討
2. NCCSの活用と安定的な運用

実施内容

1. ナースセンターの強化策の検討
 - 1) デジタル改革関連法に基づく人材活用システムとの情報連携と周知
 - 2) 行政との連携による看護補助者の無料職業紹介に関する運用
2. NCCSの活用と安定的な運用
 - 1) 第7次システムの周知・活用

実施報告

1. ナースセンターの強化策の検討

- 1) デジタル改革関連法に基づく人材活用システムとの情報連携と周知
デジタル庁システム不具合のため令和7年秋頃へ延期予定
- 2) 行政との連携による看護補助者の無料職業紹介に関する運用
日本看護協会委託事業「看護補助者の確保・定着推進事業」として、令和6年6月24日に契約締結
ナースセンター委託先の医療人材対策室と相談の結果、無料職業紹介の取り扱い範囲を拡げず、ハローワークと連携し就業サポートを実施
①看護補助者についての周知広報活動について
・長崎新聞広告LIFE欄に広告掲載（7日間）、県内イオン3か所ポスター掲示（1か月間）
・労働局の協力を得て、ポスター・リーフレットを各医療施設等へ配布
②求職者への研修受講支援
・相談人数14名、受講修了者3名、補助者就業希望者2名
③就業希望者をハローワークへつなぐ
・看護補助者業務説明会6回（ハローワーク佐世保2回、長崎4回）
・ナースセンターの対応は、12月ナースセンターだよりで周知

2. NCCSの活用と安定的な運用

- 1) 第7次システムの周知・活用
・看護職のためのポータルサイトNuPSは令和7年秋頃に提供予定

※NCCS…ナースセンター・コンピューター・システム

※NuPS…ナース・ポータルサイト

重点目標2 専門職としてのキャリア継続の支援

重点事業2-3 質の高い看護実践を支える生涯学習の推進

事業内容

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援
2. 研修管理システム（マナブル）の導入
3. 看護職の生涯学習ガイドラインの普及

実施内容

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援
 - 1) あらゆる領域で多彩な研修一覧の提供（研修一覧）
2. 研修管理システム（マナブル）の導入
 - 1) スムーズな移行のための研修申込（登録）方法の周知と相談対応
3. 看護職の生涯学習ガイドラインの普及
 - 1) 生涯学習支援に関する情報提供
 - 2) 看護師のまなびサポートブックの関係機関への配布

実施報告

1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援

- 1) あらゆる領域で多彩な研修一覧の提供（研修一覧）
 - ・2024年度研修一覧タブロイド版 11,500部作成、会員1部、関係職能17団体各5部送付
 - ・研修受講実績：79%
 - ・研修分類1 33研修 日数 50日 受講者数 1,283名
 - ・研修分類2 7研修 日数 11日 受講者数 362名
 - ・研修分類3 6研修 日数 14日 受講者数 253名
 - ・研修分類4 2研修 日数 2日 受講者数 135名
 - ・研修分類5 6研修 日数 74日 受講者数 239名

2. 研修管理システム（マナブル）の導入

- 1) スムーズな移行のための研修申込（登録）方法の周知と相談対応
 - ・登録方法マニュアルをホームページに掲載、メール・電話等での問い合わせ対応：320件
 - ・令和7年3月末現在：登録者 4,363名 会員登録率 40%

3. 看護職の生涯学習ガイドラインの普及

- 1) 生涯学習支援に関する情報提供
 - ・「生涯学習ガイドライン」に沿った2024年度研修一覧の周知
 - ・支部長等関係会議、教育等担当者関係研修での周知
- 2) 看護師のまなびサポートブックの関係機関への配布
 - ・認定管理者教育課程、教育指導に関する研修受講者467部配布
 - ・会員施設新人看護職員・指導者、看護師養成機関等 1,443部配布

重点目標3 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

重点事業3-1 看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡充

事業内容

1. タスク・シフト/シェアの推進
2. 看護補助者の確保・定着の推進

実施内容

1. タスク・シフト/シェアの推進
 - 1) 実践事例の収集と周知
 - 2) 施設会員代表者・看護管理者等交流会での意見交換、情報収集
2. 看護補助者の確保・定着の推進
 - 1) ナースセンターと連携し、看護補助者の確保・定着
 - 2) 看護補助者研修の実施

実施報告

1. タスク・シフト/シェアの推進

- 1) 実践事例の収集と周知
 - 2) 施設会員代表者・看護管理者等交流会での意見交換、情報収集
- 令和7年2月4日、第2回施設会員代表者・看護管理者等交流会をオンラインで開催40施設62名
4施設から「タスク・シフト/シェア実践事例」紹介
アンケートの結果「参考になった」100%、「活用できる」94.6%
ホームページ、協会だより3月号、5月発行の会報95号で紹介

2. 看護補助者の確保・定着の推進

- 1) ナースセンターと連携し、看護補助者の確保・定着
看護補助者について広報（新聞広告1社、チラシ・リーフレット：10ヶ所のハローワークに設置、全会員施設へ配布）、求職者に対する中央ナースセンター研修の希望1名以上を目標値とした。
希望者は6名（うち3名受講修了）であった。（重点2-2-1の実施報告に詳細報告）
- 2) 看護補助者研修の実施
令和6年度診療報酬改定により新設された「看護補助者体制充実加算」に該当する研修として
「看護補助者標準研修－看護補助者充実加算該当パッケージ研修」を開催
オンデマンド研修610時間（1/23～2/15）
集合研修120分（2/20）申込者 22名（9施設）（内演習者8名）

重点目標3 地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

重点事業3-2 特定行為に係る看護師の研修制度の活用推進

事業内容

- 特定行為研修のさらなる受講推進と修了者の活動推進への支援

実施内容

- 特定行為研修のさらなる受講推進と修了者の活動推進への支援
 - 特定行為研修修了者交流会、講演会等の開催
 - 実践集の周知

実施報告

1. 特定行為研修のさらなる受講推進と修了者の活動推進への支援

- 特定行為研修修了者交流会、講演会等の開催
 - 令和7年3月22日（土）特定行為研修修了者実践報告会をハイブリッド形式で開催 参加人数41名
- 実践集の周知
 - 令和5年度、「看護師の特定行為研修修了者の活躍推進に向けた看護管理者と特定行為研修修了者実践集」を作成、令和6年度に各施設に配布。施設訪問時、活用状況の聞き取りを実施
 - 令和7年1月発行の会報94号より、シリーズとして特定行為研修修了者の活躍を掲載する計画（3回）、第1回は、在宅・慢性期領域パッケージを修了した訪問看護ステーションで活躍されている訪問看護師の活動内容を掲載

重点目標4 地域の健康危機管理体制の構築

重点事業4-1 感染症拡大及び災害発生時における看護提供体制の整備

事業内容

1. 災害発生時における看護支援活動の体制整備及び日本看護協会・行政との連携

実施内容

1. 災害発生時における看護支援活動の体制整備及び日本看護協会・行政との連携
2. 災害支援ナース養成研修の実施

実施報告

1. 災害発生時における看護支援活動の体制整備及び日本看護協会・行政との連携

- ・法改正後の「災害支援ナース」の仕組みに基づき、日本看護協会と「災害支援ナースの派遣に関する協定書」を締結
- ・県内外の災害支援ナースの派遣要請については、長崎県と「長崎県災害支援ナースの派遣に関する協定」を締結。業務締結等については、今後、長崎県と調整予定

2. 災害支援ナース養成研修の実施

- ・令和5年度に引き続き、オンデマンド研修と災害編、感染編の演習を実施（受講者25名）
令和6年度現在、修了者81名
- ・令和6年6月29日、災害支援ナース交流会 防災士による講話、避難所運営ゲームHUG実施
(参加人数37名、内20名災害支援ナース)

重点目標 4

地域の健康危機管理体制の構築

重点事業4-2 長崎県看護協会のBCP（事業継続計画）策定

事業内容

1. 長崎県看護協会のBCPの作成

実施内容

1. 長崎県看護協会のBCPの作成
 - 1) 日本看護協会の基本方針に基づき、長崎県看護協会のBCP作成

実施報告

1. 長崎県看護協会のBCPの作成

- 1) 日本看護協会の基本方針に基づき、長崎県看護協会のBCP作成
 - ・令和6年12月、日本看護協会はBCPの基本方針を公表
 - ・本協会のBCPについては、日本看護協会が作成した基本方針に添って、作成中令和7年度に完成予定

基盤強化事業

事業内容

1. 会員の確保
2. 長崎会館解体に伴う事業部移転の実施
3. 組織基盤の強化

実施内容

1. 会員の確保
 - 1) 施設訪問による看護管理者との情報交換
 - 2) 看護師等学校養成所との連携による学生への広報と周知
2. 長崎会館解体に伴う事業部移転の実施
 - 1) 移転後の適切な事業運営の維持
3. 組織基盤の強化
 - 1) 組織についての健全運営に向けた方針策定

実施報告

1. 会員確保

- 1) 施設訪問による看護管理者との情報交換
協会の活動理解促進及び会員確保等を目的に、県南地区、県央地区、県北地区の18か所の施設を訪問。協会事業の共通理解に繋ぐことができた。また、看護管理者との情報交換をする中、業務に関する提案等もあるなど、業務改善にも繋がった。
- 2) 看護師等学校養成所との連携による学生への広報と周知
看護系大学と看護師養成校から、看護協会事業についての講話依頼があり2校へ対応。また、看護協会事業PRのための訪問を行いチラシ等を配布（6校）及び看護養成校連絡協議会への参加をするなど連携を積極的に図った。

2. 長崎会館解体に伴う事業部移転の実施

- 1) 移転後の適切な事業運営の維持
長崎会館事業部及び県南支部は、令和6年5月26日、新事務所へ移転。移転後の事業運営が円滑に行われるよう、在宅支援事業部の収支改善に向け取り組んだ、その結果、前年度比約33%の改善

3. 組織基盤の強化

- 1) 組織についての健全運営に向けた方針策定
 - ・会員の負担軽減を図るために、年1回の支部集会の開催を廃止する等の支部事業の見直しを図った。
 - ・令和7年度以降に他県から異動してきた会員の入会金の取り扱いについて見直し、令和7年4月から還付を施行

令和6年度 事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

※下線は新規事業・《 》は重点事業

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1-1) 継続教育に関する事業</p> <p>1. あらゆる場で働く看護職に求められる能力を養うための研修の実施とキャリア支援《重2-3》</p> <p>(1)看護職の資質向上と人材育成を図るためにあらゆる領域で多彩な研修の企画・提供</p> <ul style="list-style-type: none">・計画52研修：52研修終了・追加計画3研修：3研修終了 <p>①社会情勢の現状を考慮し、看護実践能力向上に繋がる研修企画・運営・評価</p> <ul style="list-style-type: none">・教育委員会開催1回/月（12回）・研修実施後の評価、実施録まとめ－2023年度実施録8月ホームページ掲載・支部、職能委員会との情報共有－職能・支部企画交流会の研修一覧へ掲載 <p>(2)研修効果を高めるための研修形態の提供</p> <ul style="list-style-type: none">・情報交換、ネットワーク作りで学習効果を発揮する集合研修：45研修・研修形態が選択できるハイブリッド研修：10研修 <p>(3)日本看護協会との連携による研修提供</p> <ul style="list-style-type: none">①日本看護協会インターネット配信研修オンデマンドを活用した「医療安全管理者養成研修」<ul style="list-style-type: none">・7/1～オンデマンド開始49名、12/19集合演習開催48名修了②JNA収録DVD研修「認知症高齢者の看護実践に必要な知識」<ul style="list-style-type: none">・第1回10/29・30開催 69名修了・第2回9/17・18開催 72名修了③日本看護協会オンデマンド活用研修<ul style="list-style-type: none">「看護補助者の活用推進のための看護管理者研修」<ul style="list-style-type: none">・第1回7/25午後開催60名修了、第2回7/25午前開催68名修了「災害支援ナース養成研修」・10/16・17開催25名修了「<u>外来における在宅療養支援能力向上のための研修</u>」<ul style="list-style-type: none">・12/15開催13名修了「看護補助者標準研修」<ul style="list-style-type: none">・2/20集合演習開催8名修了、3/10自施設演習14名修了 <p>(4)資格認定教育 認定看護管理者教育課程の企画・運営・評価</p> <ul style="list-style-type: none">①認定看護管理者教育課程教育運営委員会の開催6回/年 ①4/13②7/7③9/8④11/30⑤1/18⑥3/23②認定看護管理者教育課程ファーストレベル<ul style="list-style-type: none">・第1回：5/16～9/22 39名、修了者39名・第2回：10/3～1/26 52名、修了者50名③認定看護管理者教育課程セカンドレベル<ul style="list-style-type: none">・6/27～12/8 37名、科目履修生1名、修了者38名④認定看護管理者教育課程看護管理実践報告会<ul style="list-style-type: none">・2023年度第2回ファーストレベル看護管理実践報告会：修了者44名中、6/16参加報告41名、紙上報告3名・2023年度セカンドレベル看護管理実践報告会：修了者29名中、9/1参加報告28名、紙上報告1名・2024年度第1回ファーストレベル看護管理実践報告会：修了者39名中、2/15参加報告38名、紙上報告1名⑤日本看護協会認定部との連携<ul style="list-style-type: none">・10/29認定看護管理者個人審査変更についての説明会・2/12認定看護管理者教育課程等の見直しに関する説明会5名参加⑥<u>認定看護管理者制度見直しに伴う新たな教育課程の周知</u> <p>(5)継続教育に携わる関係者との情報共有</p> <ul style="list-style-type: none">①日本看護協会および都道府県看護協会との連携<ul style="list-style-type: none">・8/8都道府県看護協会教育担当者会議2名参加②研修センター運営委員会の開催 2回/年 ①10/22 ②11/22③人材育成のための職員の学会等への参加<ul style="list-style-type: none">・8/23・24日本看護管理学会2名参加

事業内容

2. 研修受講管理システム（マナブル）の導入

- (1)スムーズな移行のための研修申込（登録）方法の周知
 - ①ホームページ・協会だよりを通じた情報発信
 - ・4/16登録・申込開始、ホームページマナブルアイコン設定
 - ②マナブル登録・申込操作マニュアルの作成周知
 - ・ホームページ、マナブルマイページへ掲載
 - ③登録申込方法への相談対応（4月～3月）
 - ・登録者数4,363名
 - ・電話、問合せフォームからの相談対応：320件
 - ④操作Q&Aの作成
 - ・よくある質問Q&A掲載 ホームページ随時更新

3. 看護職の生涯学習ガイドラインの普及

- (1)「看護職の生涯学習ガイドライン」の普及に向けた活動
 - ①日本看護協会発信情報の提供
 - ・支部長会を活用した情報発信
 - ・研修会やホームページ、協会だよりを通じた情報発信
 - ②「看護師のまなびサポートブック」の周知と関係機関への配布
 - ・新人看護職員、基礎教育機関等へ提供：関係研修受講者・指導者等467部配布
 - ・看護大学・看護師養成機関945部配布
 - ・希望会員施設498部配布
 - ③新たな生涯学習支援体制「生涯学習に関するガイドライン（日本看護協会）」の情報提供と周知
 - ・ガイドラインの普及について、支部を中心に施設の生涯学習の現状聞き取り（執行部）

1-2) 受託・補助事業等の企画・運営

- (1)長崎県訪問看護サポートセンター事業
 - ①訪問看護師養成講習会：7/16～12/7、24名（8/24受講辞退1名）
- (2)長崎県看護職員認知症対応力・実践力等向上研修開催
 - ①長崎県看護職員認知症対応力・実践力向上研修：11/1・2・9開催 応募者88名、受講者68名、修了者67名
 - ②介護施設等における看護実務者研修：11/19・20・26開催 応募者74名、受講者54名、修了者50名

1-3) 図書室運営に関する事業

- (1)図書室の運営・整備・利用者支援
 - ・図書室利用状況：会員49名、非会員7名
 - ①図書・雑誌の収集・整備・管理：新規図26冊配架
 - ②図書・看護文献情報提供・管理
- (2)文献検索支援、文献複写サービス（来館・郵送）

1-4) 看護学会等学術集会に関する事業

- (1)長崎県看護学会学術集会の開催 9/7(土)開催
 - ハイブリッド開催（Zoom利用）参加者294名（来館246名、オンライン40名、委員8名）
テーマ：未来につなぐ長崎県産看護～経験を糧にこれからの看護をかたる～
開会式典、演題発表、シンポジウム（シンポジスト4名）
20演題（口演17題、示説3題）
 - ①学会委員会開催 10月～8月1回 学会月は3回 合計14回
 - ②長崎県看護学会学術集会の企画・運営・評価
 - ③学会委員・査読委員合同会議、協力委員との合同会議
 - ・3/11開催 参加者17名
- (2)長崎県看護学会誌の発刊
 - ①学会誌編集委員会開催 1回/月（4回）
 - a 査読員の入材確保（査読員のデータベースの作成と管理）
 - b 査読能力向上のための研修（査読員を対象とした研修の企画・運営・評価）
 - ・2/8「学会誌掲載論文査読員研修会」開催（ハイブリッド）参加者23名（来館5名、オンライン18名）
 - c 学会誌の発行 投稿論文2件
 - d 掲載論文確保のための検討（学会誌のPR活動・他の委員会との連携会議）
 - (3)支部看護研究会等の開催 支部事業報告参照（県南・県央・対馬）

事業内容

(4)研究助成に関する事項

①研究助成金交付（受付期間4/1～6/30）

- ・応募1件（7/22、8/22審査委員会開催し、条件付き承認）・申請取り下げにより助成金の交付なし
- ・10月看護研究助成金事業要領の変更 令和7年度の応募の受付1/6～2/28 応募1件

(5)他団体学会等への後援並びに協力

①長崎県国保地域医療学会への協力 10/20開催 研究発表者1名、シンポジスト1名を推薦

②長崎県総合公衆衛生研究会への協力

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容

2-1) 勤務環境改善への取り組み支援事業

(1)労働環境委員会の開催 1回/月（11回）

- ①労働環境管理上の問題点、課題等の情報交換
- ②普及啓発 協会ホームページ更新「健康で安全な職場を目指す情報室」（労働環境に関する新情報等）
- ③ナースセンター・看護キャリア支援センターとの連携

(2)就業継続が可能な看護職の働き方の普及・支援《重2-1》

①委員会、各支部、施設会員代表者・看護管理者等での周知・普及

- ・第1回施設会員代表者・看護管理者等交流会の開催
9/18「就業継続が可能な看護職の働き方」についての事例発表 発表者4名
参加者65名（来館16施設22名、オンライン35施設43名）

②職場での看護職員の待遇改善の取り組みの好事例の紹介

③施設訪問により待遇改善の情報提供

④協会ホームページ更新「健康で安全な職場を目指す情報室」（労働環境に係る新情報等）

⑤看護職（正規職員）を対象にアンケート実施（送付対象：会員施設）

8月：倫理委員会承認後、調査票発送。集計結果を2月にホームページへ掲載し、協会だよりで周知

(3)看護の専門性を發揮するタスク・シフト/シェアの周知拡大《重3-1》

①ホームページや協会だよりでの情報提供

②施設会員代表者・看護管理者等交流会で好事例の発表

- ・第2回施設会員代表者・看護管理者等交流会の開催

- 2/4「タスク・シフト/シェア」の取り組みについての事例発表 発表者4名
参加者59名（来館2施設3名、オンライン38施設56名）

③「看護チームにおける看護師・准看護師の業務のあり方に関するガイドライン及び活用ガイド」の活用推進に向けた情報交換会の開催

- ・12/11(木)参加者33名（来館15名、オンライン18名）

講演1 テーマ：「看護チームにおける看護師・准看護師の業務の在り方」

講 師：日本看護協会常任理事 田母神 裕美

講演2 テーマ：「看護師・准看護師の業務の実際」

講 師：医療法人健栄会三康病院グループ 診療管理部長 磯川 薫

(4)ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の普及

①ホームページや協会だよりによる周知・普及

(4)ICT等の活用による看護業務の効率化の推進

①ICT等の活用に関する情報提供及びICT活用についての好事例の紹介

(4)看護補助者の確保・定着推進の取り組み《重3-1》

①日本看護協会の動向について情報提供

②看護補助者の仕事についての広報

「看護補助者の確保・定着推進事業」日本看護協会委託事業受託 P45参照

2-2) 看護職の就業支援事業

(1)就業促進支援の推進（長崎県ナースセンター事業：県委託による）

①就業に関する相談支援 2/1無料職業紹介事業更新（5年ごと）

- ・長崎相談所（支所）の閉所周知と諫早相談所（本所）との統合による業務運営の円滑化

R6.10月からハローワーク長崎の相談日を2回/月に増やして対応

- ・ナースセンター事業所内相談（諫早・佐世保）《前年比》

求人登録数653名《107.9%》 求職登録者数589名《93.3%》 就職者326名《89.8%》

事業内容

a LINE活用による予約相談《前年比》

LINE登録者数656名《3.8倍》 相談件数370件《9.25倍》(うちビデオ通話1件) 情報配信93回《4.4倍》

- ・海外から移住希望の方1名、県外から移住希望の方1名との対応に活用

b 情報発信の強化

- ・広告：新聞広告1/24、2/28（医療人材対策室）、諫早市PTA連合会機関紙広告1/18
- ・LINE機能充実（画面表示《リンク》）：eナースセンター、とどけるん、看護協会HP、キャリア支援センターHP、電話・相談ワンクリック対応設定
- ・新規求人配信1回/週、急募・希望に対応した配信 随時、施設情報配信依頼合計14件（7月開始）
- ・求職者への求人カード送付に活用（郵送料削減）
- ・長崎県央看護学校同窓会LINEでナースセンター紹介依頼10/21

・移動相談（巡回相談）

相談者数：168名（諫早39名、大村17名、長崎71名、メルカ2名、佐世保38名、島原1名）《前年比150.4%》

a ハローワーク：定例相談（諫早・大村・佐世保：1回/月、長崎2回/月[10月～]、島原1回/3ヶ月）

フリー面談会（長崎11回、51事業所、求職者20名）、ミニ面談会（佐世保4回：求職者17名）

※面談会には看護補助者の相談を含む

b サテライト相談所（メルカつきまち：1回/月）相談者2名（9月終了）

c 施設訪問（求人施設への求職者の就労ニーズを踏まえた働き方の提案等の支援強化）157件

《目標：150、達成率104.7%》

・施設来所 70件（諫早48件、佐世保22件）

・病院破産宣告後の相談対応 ハローワーク佐世保と連携し対応 登録者22名、就職14名

d 看護職員合同就職説明会（県主催）への参加12/8 参加者：看護学生約180名 未就業7名 相談者3名

・求人・求職情報の把握と提供

・6/5 雇用条件明記に関する説明案内文書送付308通発送（4月職業安定法改定のため）、6/28回収

a 求職者・求人施設の登録者の現状把握：1回/6ヶ月

求人施設 772件、求職者 707件

b 求人情報一覧の作成・配布 送付：6/19（362部）、9/27（364部）、1/20（361部）

配布：6/28（36部）

・しまの情報誌の活用

パンフレット「Nagasaki shima ナース」9月2,500部作成

県内高等学校、看護養成機関、離島施設、会員施設、他県看護養成機関進学者、関係機関等送付

ホームページ掲載

②離職時等の届出制度の定着 届出者数 173名・就職者数 27名

・現任の看護管理者へ「退職される皆様へ」セットの活用普及

・研修センター、長崎県看護キャリア支援センターと連携し、研修受講生への説明・周知

・「届出制度」啓発、「eナースセンター」への登録促進

③登録の支援（求人：ガイドブック・登録マニュアル配布、求職：登録・活用法マニュアル配布）

④長崎県看護キャリア支援センターとの連携 運営委員会出席 第1回4/22、第2回12/6、事業検討委員会10/29

ナースセンターおよび看護キャリア支援センターとの協働

a 潜在看護職への継続的な就業支援

5/23 大村市医師会復職支援研修打ち合わせ

ナースセンター情報発信を看護養成所同窓会依頼

・看護職養成所同窓会との連携（10/15看護学校協議会で依頼）

・10/21 長崎県央看護学校同窓会依頼 1/20佐世保市医師会看護専門学校同窓会依頼

・3/8佐世保市医師会看護専門学校同窓会解散式資料配布

b プラチナ世代（定年前・定年後継続雇用）看護職の勤務継続支援

地域に必要な看護職確保推進事業（日本看護協会委託事業）「プラチナナース掘り起こし事業」

目的：プラチナ世代活躍のための条件提案 倫理的配慮：長崎県看護協会倫理委員会審査11/18

対象50～70歳の登録者232名、12/11発送 12/27締切 117回収（50.4%）有効回答115（49.6%）

2/14中央ナースセンターへ報告

c 離職者・未就業看護職の潜在化防止と就業意欲を高めるための研修会・交流会の開催

・復職支援研修連携協力（注射演習・NC説明）7回（5/15、5/22、7/10、7/17、10/9、10/16、1/22）

未就業受講者の復職支援

・プラチナナース研修 終了時演習参加7/12、1/17（12月 講師選出・依頼、参加者声掛約40名）

d 潜在看護職、プラチナナース及び求人施設情報の共有と「事業所説明会」の開催によるマッチング支援

・ハローワーク事業所説明会参加、求人施設へ他施設のプラチナナース雇用情報提供

事業内容

⑤看護職員離職者調査及び需要調査

4/26調査票発送（1,632施設）、5/17締切、回答率69.1%、離職率9.9%、新卒離職率9.5%

⑥「保健師の活動内容や魅力発信のためのイベント及び相談会」（協会主催 協力）《重1-1》

2/8 参加自治体：長崎県・14市町 参加者：27名（学生21名・有資格者3名、教員1名、保護者2名）

(2)デジタル改革関連法に基づく人材活用システムとの情報連携と周知《重2-2》

①システムのメリットについて周知し、協会・行政と連携しNCCSの活用と安定的な運用

・第7次NCCSの活用と安定的な運用 オンライン説明会 9/12、11/28、1/29 次年度秋へ延期

②看護補助者の無料職業紹介に関する運用

日看協委託事業「看護補助者の確保・定着推進事業」6/24契約締結、PR 長崎新聞広告9/22～28、

ハローワーク：A3ポスター（20枚）、リーフレットとチラシ（各150部）配置（9/4労働局へ依頼・送付）

・佐世保ミニ面談会2回 相談8名・研修受講希望者4名（受講修了1名）

長崎フリー面談会4回 相談1名・受講0

・ハローワーク相談総計13名・研修受講希望者6名（受講終了3名）

ハローワークと連携して就業サポート実施0

(3)「看護の心」普及及び進路指導・相談に関すること

①2024看護への道フェア（県協会との連携事業）8/6参加者111名

・対象者（高等学校進路指導担当教諭、中・高校生、保護者）への周知

ポスター370枚、チラシ3,000枚作成・配布（県内高等学校・中学校、図書館、市・町役場、教育委員会等）

事務局会議6回開催

・参加者：111名（高校生81名、中学生3名、教諭2名、保護者他19名、取材3社、行政3名）

協力員：74名（医療機関・職能委員等36名、看護学生10名、協会職員28名）

看護養成機関：8校13名

しまナース新設（長崎県病院企業団と連携）

・長崎新聞社、3SUN TV、ひまわりテレビより取材

②出前授業事業の周知（県協会との連携事業）

・実施校9校・参加者総数：生徒734名、教員等58名・協力施設：6施設、協力員21名

・行政・教育委員会との連携

・メディアの活用 開催情報提供 4社延べ6回取材

長崎新聞社、NHK長崎放送局、ひまわりテレビ、テレビ佐世保

・講師調整・依頼

③新人看護師の職場適応への支援

・キャリア支援センター運営会議出席、新人看護師交流会出席1/24

・看護学校基礎教育を考える会出席2/19

④看護師等学校・養成所への訪問による進路指導・相談対応・就業説明、キャリア支援

・看護師等学校・養成所訪問によるナースセンター説明

対面：11校、資料送付：2校

(4)事業運営の充実に向けた活動

①長崎県ナースセンター事業運営委員会（県主催）11/29

②ナースセンター運営委員会の開催（2回/年）12/2、3/18（書面開催）

③相談員業務連絡会の開催（6回/年）5/13、7/22、9/30、11/11、1/28、3/10

④関係機関との会議等への出席

・中央ナースセンターとの連携：説明会9/12、11/28、1/29、3/14

・労働局との連携 労働局主催：5/28長崎県人材確保対策推進協議会、11/29ハローワーク・ナースセンター連絡調整会議、長崎労働局人材確保に向けた魅力発信資料作成協力

取材：12/21長崎県対馬病院、12/24市立大村市民病院、12/26北松中央病院、

1/8日本赤十字社長崎原爆諫早病院

・福祉分野との連携 社会福祉協議会主催：長崎県福祉人材センター運営委員会2/25

⑤相談員の質の向上

職業紹介責任者講習（オンライン）4/11 1名、5/22 1名、12/11 1名、3/28 1名

キャリアコンサルティング研修8/26 2名、医療環境改善セミナー7/12、看護職員採用力向上セミナー10/22、10/24

求職者確保に役立つスキルアップセミナー11/15 1名 外国人材の職業紹介事業ガイダンス12/10、12/13、1/10
法改正に関する講演2/13 全員

⑥准看護師の進学相談及び進学支援

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業(公益目的事業)

事業内容
<p>3-1) 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)看護師職能委員会開催 1回/月 (12回開催)</p> <p>(2)看護師の質向上に関する事業</p> <p>①研修会・交流会の開催</p> <p>a 看護師職能I小委員会(病院領域)研修会・交流会《重1-1》《重3-1》 テーマ:「みんなで考えよう!看護師と看護補助者間のタスク・シフト/シェア」 日 時:11/30(土)13:00~15:30 講 師:佐世保中央病院 看護部長 横山 藤美 参加者:38名(看護師:会員29名、非会員3名、看護補助者:6名)</p> <p>b 看護師職能I(病院領域)・II(施設・在宅領域)小委員会合同研修会《重1-1》 テーマ:「ポジティブ・メンタルで活力ある毎日 ~セルフケアのポイント~」 日 時:8/17(土)13:00~15:30 講 師:長崎産業保健総合支援センター 基幹相談員 田川 宣昌 参加者:30名(会員26名、非会員4名) 職種(看護師24名、保健師4名、理学療法士2名)</p> <p>c 看護師職能II(施設・在宅領域)小委員会交流会《重1-1》《重2-3》 テーマ:「介護職員の教育指導に関する問題解決のために ~施設看護職の連携を図ろう~」 日 時:10/26(土)13:00~15:30 講 師:かいごの花みづき 看護師 深堀 立子 演題「施設における看護職のスキルアップ ~看護職がデキルコト~」 参加者:29名(会員14名、非会員15名) 職種(看護師24名、介護職5名)</p> <p>(3)病院と在宅看護の充実に向けた事業</p> <p>①職能委員会による交流会開催(再掲)</p> <p>(4)三職能合同交流会</p> <p>①長崎県看護協会通常総会後に三職能合同交流会開催(助産師担当)への協力 テーマ:「女性の健康」を考える ~私のからだ作り、男性も女性も知ってほしい女性のからだの変化~ 日 時:6/15(土)13:30(総会後)~16:00 内 容:講演 講 師:女性のからだ研究室 理学療法士 山上未菜子 参加者:会員81名、非会員6名、計87名</p> <p>(5)看護の専門性を發揮するタスク・シフト/シェアの周知拡大《重3-1》 ①職能委員会による研修会・交流会開催(再掲)</p> <p>(6)「2024看護への道フェア」に協力・参加 看護師の働く姿のパネル掲示・看護体験コーナー 8/6 協力委員2名</p> <p>(7)地域における看護職の確保と役割推進《重1-1》 ①行政・本会・各職能・各支部・看護学校などとの連携にて次世代看護職の育成 問題提起やイベントへの協力(各職能の地域活動への協力)</p> <p>(8)日本看護協会看護師職能I・IIとの連携、ネットワーク構築 ①全国職能別交流集会への参加(6/7 東京) ②全国職能委員長会議への参加・意見集約 8/2、3/7 TKP新橋カンファレンスセンター ③地区別職能委員長会への参加・意見集約 11/1 熊本県</p> <p>(9)会員拡大の推進 ①交流会・研修会の際の非会員への説明 ②長崎県老人保健施設協会・長崎県老人福祉施設協議会への研修案</p>
<p>3-2) 保健師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)保健師職能委員会開催 1回/月 (13回開催) 交流会等企画、実施、評価</p> <p>(2)保健師ネットワーク会議の開催《重1-1》 目的:企業や行政(市町・県)など様々な領域で働く保健師の任意団体や大学等のネットワーク強化やキャリア形成支援 テーマ:「R4年度保健師活動基盤調査の課題解決を考える」</p>

事業内容

日 時：8/17(土)

参加者：保健師教育機関、健保連保健師看護師連絡協議会、地域包括・在宅介護支援センター協議会、全国保健師長会長崎県支部、市町村保健師会、県保健師会等 9名

内 容：①人材育成、確保、就労条件 ②教育キャリア形成 ③保健師活動における課題 について現況を報告しあい、意見交換を行った。その中で学生実習の受け入れについて市町村保健師会役員と大学、看護協会で事前協議を行うこととなった

(3)保健師職能交流集会の開催《重1-1》

テーマ：楽しいと思える公衆衛生活動へふみだすために ～かたろう つながろう ふみだそう～

日 時：2/15(土)

内 容：講義、現状報告、意見交換

参加者：医療機関、福祉施設、企業、行政（県、市町、保健所）等で働く保健師 28名参加
1～5年目の保健師等（新任期保健師交流・研修会も兼ねる）

(4)三職能合同交流会（3名協力）

テーマ：「女性の健康」を考える

～私のからだ作り、男性も女性も知ってほしい女性のからだの変化～

日 時：6/15(土)13：30（総会後）～16：00

内 容：講演

講 師：女性のからだ研究室 理学療法士 山上未菜子

参加者：会員81名、非会員6名、計87名

(5)「2024看護への道フェア」に協力・参加

職能委員 2名参加

(6)長崎県職場の健康づくり応援事業への協力

要望のあった事業所・施設等への講師派遣：11件実施

協会事務局との協働による登録者研修の実施

8月協会だよりに登録者募集の掲載⇒職場の健康づくり応援事業説明会 2/8開催（ハイブリット）5名参加

(7)保健師の魅力発信イベント《重1-1》（再掲）

2/8(土) イベント参加：企業保健師によるプレゼンテーション、なんでも相談コーナー

(8)会員拡大の推進《基盤強化事業》

保健師業務紹介パネルや入会案内チラシを活用し、各種交流会、会議等で呼びかけ

保健師職能委員会だより「なでしこだより ～KAURA～」の作成及び配布 2回

(9)日本看護協会保健師職能委員会との連携、ネットワーク構築

①全国職能別交流集会への参加（6/7 東京）・意見集約

②全国職能委員長会への参加（第1回：8/2、第2回：3/7）

③地区別別職能委員長会（11/1熊本）への参加・意見集約

3-3) 助産師業務の改善に関する事業

(1)助産師職能委員会開催 1回/月（12回開催）

(2)助産師の質向上に関する事業

① 交流会・研修会の開催

a. アフターピル（緊急避妊薬）に関する研修会・交流会 Web開催

「～コメディカルで女性をサポートしよう～アフターピル（緊急避妊薬）等の基礎知識」

日時：10/12(土)13：30～15：30 参加者36名

対象：助産師、保健師、看護師、准看護師

講師：やすひウイメンズヘルスクリニック 産婦人科専門医 安日泰子

アドバンス助産師の更新単位（選択科目）

b. 性教育に関する研修会・交流会

「豊かな性を伝えたい」

日時：11/10(日)13：30～15：30 参加者59名

対象：助産師・看護師・保健師・准看護師・小中高等学校の養護教諭や教職員

講師：レインボーサンバハウス 助産師 中村 まり子

アドバンス助産師の更新単位（選択科目）

事業内容

(3)母子保健の向上に関する事業

①性に対する知識の普及

性教育セミナー開催

23校（開催回数26回）、参加人数延1,963名

②第28回「国際助産師の日」記念イベント

目的：助産師活動の市民への啓発、「国際助産師の日」PR

日時：7/13(土)13:30～16:00

対象：地域住民

場所：みらい長崎ココウォークイベント会場

内容：あらゆる女性を対象とした保健指導・相談、授乳・離乳相談、助産師職能のアピール

胎児人形、性教育教材紹介を用いた体験

参加者211名（大人118名、こども93名）

(4)三職能合同交流会

テーマ：「女性の健康」を考える

～私のからだ作り、男性も女性も知ってほしい女性のからだの変化～

日 時：6/15(土)13:30（総会後）～16:00

内 容：講演

講 師：女性のからだ研究室 理学療法士 山上未菜子

参加者：会員81名、非会員6名、計87名

(5)看護の専門性を發揮するタスク・シフト/シェアの推進《重3-1》

①職能委員会による課題抽出

2024年度都道府県看護協会助産師職能委員会活動に関する情報収集や、「新たな看護の将来ビジョン骨子案へのご意見について」を通して検討、今後も検討を続ける

(6)日本看護協会助産師職能委員会との連携、ネットワーク構築

6/6 日本看護協会通常総会（東京） 6/7 全国助産師交流集会（東京）

8/2 2024年度第1回全国助産師職能委員長会議出席（東京）、11/1 地区別職能委員会（熊本）

3/7 2024年度第2回全国助産師職能委員長会議出席（東京）

3-4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供

(1)特定行為研修修了者に関する現状把握《重3-2》

①特定行為研修制度の周知・普及

(2)特定行為研修修了者の活躍支援

①特定行為研修修了者の活動状況の情報発信

会報NO.94に「お仕事紹介」掲載

②シンポジウム、交流会実施

3/22開催 「特定行為研修修了者実践報告会」参加者41名（オンライン含む）

(3)最新の情報の提供

①施設会員代表者・看護管理者等との交流会（2回/年）

・第1回：9/18「就業継続が可能な看護職の働き方」についての事例発表 発表者4名（再掲）

参加者65名（来館16施設22名、オンライン35施設43名）

・第2回：2/4「タスク・シフト/シェア」の取り組みについての事例発表 発表者4名（再掲）

参加者59名（来館2施設3名、オンライン38施設56名）

②支部との連携

(4)「看護師基礎教育を考える会」開催

・2/19開催 講演 テーマ：「今後の社会の変化に対応できる看護師基礎教育」 参加者29名

講師：日本看護協会 田母神裕美

グループワーク「看護師基礎教育の4年制化について考える」

事業内容

3-5) 医療・看護・介護の安全の普及に関する事業

(1)安全管理委員会の開催 1回/月 (11回)

①委員間の情報交換、中小規模医療機関、介護施設、訪問看護事業所等への医療安全に関する聞き取り

②耳より情報の発信 1回/3か月

・VOL.31 (5月協会だより) VOL.32 (8月協会だより) VOL.33 (11月協会だより) VOL.34 (2月協会だより)

③交流会の企画・開催

12/21「医療・介護施設の安全を考える交流会(第8回)」 参加者31名(会員20名、非会員11名)

④協会活動への協力(医療安全管理者研修等への運営協力、各事業所へのアドバイス)

(2)事故発生時の相談支援

①医療事故調査制度に基づき、長崎県医療事故調査等支援団体等連絡協議会との連携

(3)医療・看護安全に関する地域支援

(4)日本看護協会及び他県看護協会との連携・協力

①日本看護協会医療安全推進会議出席

(5)指定地方公共機関としての体制整備・有事の対応

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益目的事業)

事業内容

4-1) 在宅支援事業の推進

(1)地域における看護職の確保と活躍推進《重1-1》

①県内訪問看護ステーションにおける、中・高校生のふれあい看護体験・インターンシップ等の受け入れ促進

・県内看護師等養成施設への広報活動

(2)本協会在宅支援事業部の充実に向けた活動・県内在宅支援事業の実践モデル的役割の發揮

①健全な運営経営

在宅支援事業部運営委員会(2回/年)

在宅支援事業部所長会議(6回/年): 4/17・5/16・6/19・8/21・10/26・12/18

訪問看護ステーション所長会議: 8/28・12/18

ヘルパー事業所所長・主任会議: 7/8

事業部職員研修(1回以上/年)・11/20 雨天時の事故防止について

在宅支援事業部内委員会: ・感染対策委員会 2回/年: 7/17・2/19

・研修会(8月各事業所で手洗いチェック・食中毒) 1回/年

・ハラスマント対策委員会 2回/年: 6/26・11/27

・研修会1回/年(10月各事業所で動画研修)

・高齢者虐待予防委員会 2回/年: 6/19・2/19・研修会1回/年(12月各事業所動画研修)

・災害・BCP対策委員会 3回/年: 5/1・3/5(9月12月机上訓練)

・教育委員会 4回/年: 6/19・9/18・12/25・3/26

・安全管理委員会 2回/年: 4/17・10/16

a 訪問看護ステーション

<医療依存度の高い方や終末期・重度の障がい者・医療的ケア児・精神障がい者へ質の高い訪問看護の提供>

・小児・難病・精神の利用者の受け入れを積極的に行う

・関係施設の多様なニーズに対応できるよう体制強化人材の育成

・グループホーム(以下G H)、通所介護機関など施設との医療連携を進める

・施設での看取りの支援

・介護職との連携強化

・複数訪問看護ステーションとケア提供

・ICTの活用: オンライン請求: 5月申請済み: DX取り組みについて事業所内掲示・ホームページ掲載

・保険外のサービス(オプション)の提供: 4月~3月88件(内福江: レスパイト事業: 82件)

・近隣の事業所との研修会開催: 10/28 長崎出張所にて「糖尿病治療薬の知識と理解」: 24名(内他事業所8人)

長崎みなとメディカルセンター糖尿病看護特定認定看護師 山下理恵 氏

・地域住民等への情報提供・相談支援

・関係団体との連携・研修・講義・実習への協力

・各事業所: 令和6年4月1日付けで訪問看護ステーションYOU・いさはや統合

事業所名変更: 「長崎県看護協会訪問看護ステーション」

令和5年度までのYOUは「長崎県看護協会訪問看護ステーション長崎出張所」となる

訪問回数の目標値設定: 訪問看護ステーション: 機能強化型1維持

事業内容

b 居宅支援事業所（特定加算事業所）

<医療機関、行政、地域包括支援センター、介護保険事業所等と必要時迅速に連携する>

- ・ICTの活用：ケアプランデータ連携システム活用：6月ケアプラン諫早ライセンス導入➡諫早市モデル事業参加
- ・各事業所 利用者数の目標値設定（長崎・諫早：特定事業所医療・介護連携加算の算定を目指す）
- ・介護支援専門員初任者研修生の受入れ
- ・障害相談支援専門員体制づくりを目指す

c 訪問介護事業所（特定加算事業所）

<医療機関、地域包括支援センター、介護保険事業所・障害総合支援事業所との連携を密にする>

- ・各事業所 訪問回数の目標値設定（ゆう：生活支援から身体生活支援へ移行しサービス提供）
生活支援の割合が減り、障害者総合支援が9%増加した
- ・保険外のサービス（オプション）の提供：4月～3月受診待機61名15分×260件・身体2名2件・家事16名20件

d 東部地域包括支援センター（諫早市からの委託事業）

- ・総合相談：4月～3月1,099件
- ・権利擁護事業：4月～3月254件
- ・継続的・包括的ケアマネジメントの支援業務：4月～3月306件
- ・地域ケア会議（個別会議、圏域会議）の実施と活用：4月～3月ケア会議8回
- ・介護予防啓発事業の強化
- ・生活支援体制整備事業（生活支援コーディネーター等）
- ・認知症地域支援事業（認知症地域支援推進員等）：7/1～1名配置
- ・東部包括内の総合・予防ケアマネジメント利用者の目標値設定

e 訪問看護サポートセンター

- ・長崎県訪問看護サポートセンター事業（長崎県委託事業）

i 県内訪問看護事業所の相談窓口、県民に対する相談窓口の設置 相談手段：電話・メール・来所

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総件数	平均
52	84	117	101	76	90	83	68	70	39	52	39	871	72.6

- ・地域住民への訪問看護の周知・啓発
- ・訪問看護師の確保・定着及び資質向上に向けた取組
- ・関連行事を活用した訪問看護の周知活動
- ii 県内訪問看護ステーション事業の推進・人材育成
 - ・研修事業：入門研修 1回：7/13 19名
 - スキルアップ研修 6回：①8/3フィジカルアセスメント（長崎県看護キャリア支援センター）6名
②8/22フィジカルアセスメント（長崎大学病院）9名
③9/12ストーマケア（18:00～19:30Web）44名
④11/7透析患者の療養支援（18:00～19:30Web）52名
⑤11/30心穏やかに最期の時を迎える為に訪問看護が出来ること 25名
⑥1/18訪問看護で役立つコミュニケーションスキル 10名
 - 管理者研修 5回：①6/1 訪問看護における倫理的課題と対応 25名
②6/22 診療報酬・介護報酬同時改定のポイント 52名
③10/19AM 管理者に求められる力量を育てる 20名
④10/19PM スタッフと共に成長する人材育成 22名
⑤12/21 BCPからBGMへ 21名
- ・訪問看護ステーションの管理者への支援
- ・「新卒・新人訪問看護師育成プログラム」活用の広報・周知

iii 事業推進

- ・訪問看護サポートセンター事業企画運営委員会 2回/年：6/17・3/13
- ・訪問看護の普及啓発

②人材育成

- a 認定看護管理者教育課程・新人教育担当者研修・訪問看護管理者研修・スキルアップ研修会・特定行為研修等受講・訪問看護師養成講習会e-ラーニング2名終了・精神科訪問看護研修受講2名終了・実習指導者講習会特定分野等受講・主任介護専門員更新研修：1名受講・認定ケアマネージャー：1名取得・障害相談支援専門員更新研修：1名受講
- b 訪問看護師キャリアアラダーの活用
- c 新人看護職者入職時：「新卒・新人訪問看護師育成プログラム」の活用

事業内容

- d 事業毎の事例検討等の勉強会開催：訪問看護4回/年6/12・9/11・12/11・3/12
居宅介護支援2回/年7/10・2/12
訪問介護1回/年10/25
- e 関係団体との連携・研修・講義・実習への協力
・ケアプランセンター諫早（活水大学生地域包括ケア実習3名）
・看護協会訪問看護ステーション長崎出張所 第7回日本在宅医療連合学会大会研究発表2題：3/5倫理委員会開催
・介護支援専門員初任者研修実習2名
- ③人材確保
- a 各事業所でのヘルシーワークプレイスの継続・実践・評価
b 職員の離職防止・活躍推進
c ナースセンター、ハローワークとの連携：「2024年看護の道フェア」（訪問看護・高齢者疑似体験ブース）
協力員7名
- d 高校生ふれあい看護体験受入れ：各支部との連携：8/7訪問看護ステーション（諫早）3名
e 訪問看護ステーションにおけるインターンシップ受入れ：3名
f 新卒看護職者受け入れ体制整備
g 新卒入職者の確保に向けてPR：7/13 県立大学就職説明会参加
12/8 看護のお仕事フェア（長崎県庁）3名参加
- ④地域住民への在宅療養に関する周知・啓発
- a 地域住民に向けたサロン会等の出張相談・健康増進の情報提供：
・7/3：いきいきサロン中尾町にて講話（ケアプランセンター諫早）
・10/17：山里包括支援センターにて「よろず介護教室」（長崎出張所）
- b ホームページの見直し・活用：訪問看護ステーション統合・移転に伴う修正
・DX周知。令和5年度訪問看護ステーション令和5年度満足度調査結果報告
- c 「まちの保健室」への協力：県央地区協力
- ⑤長崎会館移転に伴い移転後の適切な事業運営の維持を図る
・5/26(日)長崎会館より移転（恵美須町4-5 NBC 3rdビル9階）
・移転後の変更手続き（九州厚生局・行政等）
- (3)関連団体との連携・協力
- ①訪問看護ステーション連絡協議会
②日本看護協会及び日本訪問看護振興財団関係団体、行政
- (4)県民の健康増進に向けた看護職連携構築の推進
- ①「医療的ケア児」の在宅移行支援（県委託事業）
a. 病院・周産期医療センター看護職支援（在宅に向けた支援・連携に関する研修会・交流会）
・3/8医療的ケアが必要な在宅小児等に対する支援事業シンポジウム
「医療的ケア児等の災害対策」参加者92名（内オンライン52名）
b. 小児訪問看護の推進（訪問看護師の研修、希望するステーションの取り組み支援）
・9/20「小児訪問看護の実際」「小児の在宅医療について」（オンライン）参加者61名
・見学実習「小児訪問看護 同行訪問研修」9月～12月 3名
c. 学校・保育所等における医療的ケア児に向けた看護師の研修
・8/16シミュレーター研修 参加者90名（内オンライン46名）
・11/5「NICU等における在宅移行支援の実際」（オンライン） 参加者40名
・11/27「重症心身障がい児（者）のリハビリテーション」 参加者21名（対面）
d. 離島地域で研修会を1回開催する（壱岐）
・10/8「重症心身障がい児（者）の病態生理」 場所：長崎県壱岐病院 参加者13名
e. 離島地域からの受講者に旅費を補助支給 2件
- ②地域の特性を重視した支部活動の推進に向けた支援
- a. 支部長会議の開催（5回/年）
- ③各支部における看護職連携構築ネットワーク推進会議の継続支援
- a. 県南・県央・県北の3支部で継続開催
b. 支部長会議での情報共有・協議
c. 行政保健師、多職種への働きかけ

事業内容

4-2) 在宅・福祉施設看護職員の連携推進

(1) 交流会等の開催

- ①看護師職能委員会活動 [再掲]
- ②安全管理委員会における研修会・交流会[再掲]

(2) 繙続教育支援

- ①研修センター及び看護キャリア支援センター事業による研修会
 - ・長崎県看護職員認知症対応力向上研修会（再掲）
 - ・介護施設等の看護実務者研修（再掲）
 - ・福祉施設等に働く看護職の研修（再掲）

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容

5. 健康相談、健康講座の開催

(1) 各支部による「まちの保健室」の実施

各支部事業報告参照

(2) 住民対象の講座等の開催

①出前講座等

- a 専門・認定看護師等の活用
- b 看護の出前授業（再掲）
- c 助産師の出前講座（再掲）

②地域住民への公開講座

- a 地域イベント等への参加

③地域住民の自主活動支援、ボランティア活動支援

(3) 相談事業等の推進

①各支部開催の常設型・巡回型「まちの保健室」（再掲）

(4) 会員・非会員看護職に向けた広報活動の推進

①広報出版委員会開催 2回/月（21回）

- a 会報誌の発行 3回/年

・会報92号（4月）会報93号（9月）会報94号（1月）

- b 会報作成のための取材活動

②協会だより・ホームページの充実

③日本看護協会発刊看護情報関連冊子等の活用

④マスコミ等の活用

(5) 一般住民向け広報活動の推進

①ホームページ「県民の皆様」への活用：協会案内パンフレット、看護の心普及ポスター等の活用

②活動広報パンフレット等の配布

③地域広報誌、マスコミ等の積極的活用

(6) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進

①看護の日記念事業の開催

②支部における看護の日記念行事等の実施

・5/11(土)（一部他日程あり）支部計画参照

③日本看護協会「看護の日・看護週間」事業PRバス企画への協力

・5/17 大型PRバス来県し、看護の魅力をアピール

長崎県庁にて出発式、長崎市内中心部巡回、長崎医療センター訪問

(7) 「看護の心」普及事業（次世代育成）

①中学生・高校生の一日看護体験広報・周知の拡大

②進路指導・相談（再掲）

a. 看護師等学校・養成所への訪問・就業説明

b. 看護職合同就職説明会への参加（再掲）

③看護の出前授業（対象：小学・中学・高校）（再掲）

④2024看護への道フェア（再掲）

(8) 日本スポーツマスターズ2024長崎大会への協力・支部との連携

・県南・県央・県北支部より70名派遣（9/28～10/1）

(9) 「長崎県職場の健康づくり応援事業」への協力（再掲）

6. 日本看護協会との相互協力及び連携に関する事業（公益目的事業）

事業内容

6-1) 災害時の看護支援活動に関する事業

(1) 災害看護委員会開催 1回/月 (12回)

① 災害支援ナースの啓発活動の強化

・協会だより、ホームページ、会報誌により情報提供

・「2024看護への道フェア」2名参加協力

② 実践力維持・向上のための災害看護研修・交流会の実施

・災害支援ナース交流会開催 参加者37名 (委員含む)

テーマ：想像力を高めて「もしも」にそなえる～災害をイメージし防災につながる行動がとれる～

日時：6/29(土)13:00～16:30

内容：災害派遣時の体験談報告、避難所運営ゲーム (HUG)

・災害支援ナース養成研修 演習災害編

(2) 日本看護協会及び行政、他機関等との連携、協力

① 災害支援ナース派遣調整合同訓練

1/28、29 (被災想定県とその近隣県が参加。本県の参加なし)

② 長崎県総合防災訓練等への参加 (5/25)

③ 令和6年度九州・沖縄ブロックDMAT実働訓練への参加 11/24 (4名参加)

(3) 災害支援体制の整備

① 災害支援体制及びマニュアル等の整備

② 協会内の机上シミュレーションの実施

③ 訓練実施後の体制及びマニュアル等の評価、見直し

④ 災害物資の備蓄

⑤ 災害用備品・物資の点検補充 (10月実施)

(4) 非常時における健康危機管理体制の強化《重4》

① 自然災害における会員施設との情報共有

・会員施設との連絡調整

・県災害対策本部との連携

② 法改正に伴う新しい「災害支援ナース」が令和6年4月より開始

・長崎県との災害発生時における医療救護活動に関する協定書の変更協定書締結 (R6.4.1より適用)

・日本看護協会との災害支援ナースの派遣に関する協定書締結 (R6.4.1)

・災害支援ナース登録者、看護管理者への周知

・看護管理者への協力依頼

・昨年に引き続き、新たな「災害支援ナース養成研修」の実施

③ 新興感染症拡大及び災害発生時における看護職の負担軽減《重4-1》

・病院・施設における医療・介護提供体制の情報収集

・行政・他団体との連携強化

・介護施設等の体制整備の支援

・医療逼迫時の求人対応

④ 日本看護協会の基本方針に則ってBCP策定の作成《重4-2》

・12月 日本看護協会が策定したBCP計画を参考に作成中。次年度完成予定。

6-2) 日本看護協会との連携に関する事業

(1) 会議・委員会等への参加

① 令和6年度代議員研修会

・5/18 出席者 (代議員10名、予備代議員9名、他4名)

② 日本看護協会総会 (6/6) 東京国際フォーラム 代議員10名、表彰者1名参加

・全国職能交流集会 (6/7)

③ 理事会 (6回/年) 5/10 (オブザーバー出席)、6/6、7/25・26、9/20、11/28・29、2/27・28 (オブザーバー出席)

④ 法人会員会5/10 (オブザーバー出席)、7/26、9/20、2/28 (オブザーバー出席)

⑤ 都道府県職能委員長会

⑥ 九州地区別法人会員会・職能委員長会 (10/31、11/1 熊本県)

⑦ 各種担当者会議

・都道府県看護協会政策責任者会議 (9/19)

・都道府県看護協会看護労働担当者会議 (7/18)

・都道府県看護協会会員情報管理情報交換会 (7/4)

事業内容

- ・都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議（11/22）
- ・都道府県看護協会図書室担当者研修会（9/12）
- ・都道府県看護協会広報担当役員会議（11/7）
- ・都道府県看護協会健康危機管理担当者会議（12/19）
- ・全国看護基礎教育担当役員会議（2/4）
- ・公益法人運営に関する勉強会（9/27）

(2)日本看護協会令和6年度重点政策・重点事業推進に向けての長崎県協会事業内容

/日本看護協会重点課題・基盤強化事業・SDGs実現に向けた取組み

1. 重点政策・重点事業・SDGs目標

①全世代の健康を支える看護機能の強化

《1. 看護提供体制の構築 2. 地域における健康・療養支援体制の強化に向けた取組み 3. 地域における看護職の確保と活躍推進》

・保健師・助産師・看護師の確保・活躍推進

②専門職としてのキャリア継続の支援

《1. 看護職の働き方改革の推進 2. 看護職のキャリア構築支援 3. 看護師の生涯学習支援体制の構築》

・就業継続が可能な働き方の5要因10項目の周知・普及

・ヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）の普及

・ICT活用による看護業務の効率化の推進

・あらゆる場で働く看護職に求められる研修の実施とキャリア支援

・中小規模施設等に勤務する看護職の継続教育及びクリニカルラダー活用推進への支援

・あらゆる領域で多彩な研修企画・提供（研修計画）

・看護職の生涯学習ガイドラインの普及

③地域における健康と療養を支える看護職の裁量発揮

《1. 看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェアに関する事業 2. 特定行為に係る看護師の研修制度の活用推進・資格認定者の養成戦略の検討》

・タスク・シフト/シェアの推進

・特定行為研修修了者の活躍支援

④地域の健康危機管理体制の構築

《1. 感染症拡大及び災害発生時における看護提供体制の整備 2. 本会のBCP（事業継続計画）の策定》

・新興感染症における会員施設との情報共有

・新興感染症に対応する看護職の負担軽減

・自然災害における会員施設との情報共有

・災害支援ナース登録の推進

・本協会のBCP策定

2. 重点課題

①准看護師養成の停止

②看護師基礎教育の4年制化

③ナース・プラクティショナー（仮称）制度構築

3. 基盤強化事業

①看護政策推進のためのエビデンスの集積・活用体制の構築

②政策推進力の強化

③日本看護協会における教育研修体制の強化

4. SDGs実現に向けた取組み

「日本看護協会SDGs宣言」を行い、令和4年度以降、SDGsの実現目標年度である2030年までの間、日本看護協会の重点政策をSDGsの3つの目標と関連付けて取り組む

7. 施設の貸与事業（公益目的事業／収益に関する事業）

事業内容

7. 貸事務所・貸室に関する事業

(1)ながさき看護センターの貸室運営

①建物賃貸（関連団体等）・長崎県看護連盟

②会議室、研修室等の貸出・県関連、関連団体等への貸出

・貸出状況 県関係13件、県以外団体121件、看護キャリア支援センター51件、看護連盟16件

※貸出件数201件のうち公益目的貸出112件

※近隣団体への駐車場貸出11件

事業内容

(2)長崎会館の貸室運営

①長崎会館解体に向けた諸準備

会議室・研修室等の貸出・関連団体等への貸出

・貸出状況 看護連盟10件（事業所等引越により7/20貸出終了）

8. 公の施設の管理・運営事業（公益目的事業）

事業内容

8. 長崎県看護キャリア支援センターに関する事業

※しまWEB…□離島就業看護職員に向けた配信研修

(1)復職・就業支援、福祉施設支援

①未就業看護職員のための復職支援研修

・復職支援研修：9回/年 各4日間（諫早市・佐世保市）

第1回4/3～24（3名） 第2回5/8～29（9名） 第3回6/5～26（7名）

第4回7/3～24（8名） 第5回9/4～25（6名） 第6回10/2～23（4名）

第7回12/4～25（6名） 第8回1/8～29（8名） 第9回2/5～26（6名）

・医療施設における体験研修

②プラチナナース研修：3回/年（諫早市・佐世保市・しまWEB）

第1回7/12（13名） 第2回10/18（18名 うち1名□） 第3回1/17（15名）

③福祉施設への出張研修：20施設/年

申込数8件：県南地区4件 県央地区2件 県北地区2件

実施終了数6件（136名）

④福祉施設・医療施設等に働く看護職員研修・交流会：3回/年（諫早市・佐世保市・しまWEB）

第1回6/29（10名 うち2名□） 第2回7/27（12名 うち1名□） 第3回10/19（19名 うち4名□）

(2)院内教育体制の整備・充実支援

①新人看護職員研修・交流会

・新人看護職員研修：4回/地区（諫早市・佐世保市）

県南・県央地区 第1回5/9（36名） 第2回5/14（37名） 第3回5/21（37名） 第4回5/28（34名）

県北地区 第1回5/9（23名） 第2回5/17（20名） 第3回5/24（25名） 第4回5/31（23名）

・新人看護職員交流会：4回/年（諫早市）

第1回5/9（56名） 第2回6/28（54名） 第3回10/1（53名） 第4回1/24（75名）

②新人看護職員研修「研修責任者・教育担当者・実地指導者研修」：5日間（諫早市・佐世保市）

9/2～20（50名）（研修責任者：4名 教育担当者：28名 実地指導者：18名）

③長崎県保健師助産師看護師実習指導者講習会（eラーニング・諫早市・佐世保市）

eラーニング：6/1～9/30（36名） 集合研修：11/7～12/10 23日間（35名）

④離島就業看護職員研修

・離島就業看護職員研修：1回/年 4島

上五島地区10/26（17名） 下五島地区10/26（14名） 壱岐地区9/7（15名） 対馬地区11/9（26名）

・配信研修：しまWEBとして表示

⑤看護スキルアップ研修

・看護スキルアップ研修I：10回/年（諫早市・佐世保市・しまWEB）

第1回6/1（13名） 第2回6/8（28名） 第3回6/22（27名） 第4回7/6（29名）

第5回7/20（64名 うち8名□） 第6回8/3（64名 うち7名□） 第7回8/24（52名 うち3名□）

第8回9/7（57名 うち4名□） 第9回9/21（41名 うち9名□） 第10回10/5（27名）

・看護スキルアップ研修II：5回/年（諫早市・佐世保市）

第1回8/1（11名） 第2回9/10AM（2名） 第3回9/10PM（5名） 第4回1/21（2名） 第5回8/28（13名）

⑥看護教員・施設教育担当者研修：4回/年（諫早市・佐世保市）

第1回7/20（16名） 第2回8/3（15名） 第3回8/10（15名） 第4回9/29（44名）

⑦看護研究に関する支援 4～2月（7名）

(3)学生と就業看護職者共同研修

①学生と看護職員との交流会：2回/地区

第1回 県南・県央地区8/8（4名） 県北地区7/29（57名）

第2回 県南・県央地区3/19（4名） 県北地区3/11（67名）

②実習指導者講習会修了者・関係者等の交流会：1回/年（諫早市） 6/1 AM（32名） PM（66名）

③模擬患者派遣事業 依頼数4件：県央地区1件 県北地区3件

事 業 内 容

(4)その他

①eラーニング学習：偶数月 第2木曜日

第1回4/11（16名） 第2回6/13（24名 うち3名□） 第3回8/8（20名 うち1名□）

第4回10/10（32名 うち2名□） 第5回12/12（16名 うち3名□） 第6回2/13（27名 うち1名□）

②看護技術研修支援 貸館・シミュレータ無料貸し出し 4～12月（2名）

(5)求職相談事業

①求職、求人、届出制、その他就業に関する相談：4～3月

求職者延べ数149名 求人延べ数184名 就業者数（健診・救護含む）89名

②ハローワーク出張相談：1回/月

③未就業者への研修案内等

④看護職員合同就職説明会（県主催）への参加

⑤相談員業務会議：6回/年

⑥ナースセンターとの連携

(6)貸室及び会館管理に関すること

長崎県看護連盟2件 佐世保市立看護専門学校55件 長崎県看護協会県北支部4件

長崎県看護協会訪問看護サポートセンター1件 長崎県医師会1件

(7)広報

①ホームページ運営

②広報誌掲載

・イオン大塔、イオン大村ポスター掲示

・広報はさみ ・広報まつうら ・広報ひらど ・広報さざ ・広報うんぜん ・広報みなみしまばら

・広報ときつ ・広報おおむら ・広報さいかい・広報ながよ・広報させぼ ・広報かわたな

・広報ながさき・広報しまばら ・広報ひがしそのぎ

・読売新聞 ・とっとってmotto

(8)施設管理

①建物・機器等の管理、運営

・9/12 令和7年度からの指定管理者指定申請書の提出

②保守・修繕

(9)事業運営の充実に向けた活動

①運営委員会の開催 2回/年

第1回 4/22 第2回 12/6

②関係会議への参加

③職員の資質向上

9. その他本協会の目的を達するために必要な事業（収益事業等／法人管理に関する事業）

事 業 内 容

9-1) 会員支援に関する事業

(1)会員の福利厚生の充実

①各受賞者等の推薦、表彰、慶弔・災害見舞等

・叙勲（瑞宝双光章）井口恵美子、福田妙美（瑞宝単光章）柏木美佐子

・日本看護協会長表彰 道辻美佐子

・看護事業功労者知事表彰 尾上恵美子、佐竹啓子、立山雅子、横山藤美

・長崎県看護協会名誉会員 金澤きみ代、野田哲子

・長崎県看護協会長表彰23名（令和6年度総会要綱p220参照）

弔意

・令和6年7月31日 故竹田茂子（長崎県看護協会名誉会員）[享年87]

・令和6年9月20日 故山口典子（長崎大学病院）[享年53]

・令和6年10月20日 故福田富滋余（佐世保中央病院）[享年76]

②会員特典の周知

・令和6年度総会要綱p218に掲載、ホームページにて周知

(2)相談窓口の設置

①相談対応、情報提供

事業内容

9-2) 涉外活動

(1) 重点事業に関する渉外活動

- ①県・市町等行政への要望活動 9/4長崎県へ要望書提出
- ②行政・関係機関の審議会等への委員派遣・推薦
 - a 各委員会・支部等との連携
- (2)関連団体等との連携
 - ①構成団体としての活動
 - a 長崎県看護連盟
 - b 子どもを守る「ひまわりプロジェクト（女性たちのネットワーク）」及び市民団体等
 - ②関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣
 - a 有識者等との情報交換並びに協力
 - b 後援・推薦・協賛等依頼への協力等 後援承諾31件

9-3) 訪問型病児・病後児保育事業の推進（雲仙市補助事業）

(1) 病児・病後児保育推進委員会活動

- ①委員会開催 1回/月（11回）
訪問実績47件（4月～3月）

(2) 病児・病後児保育サポーターの研修

- ①サポーター連絡会 4/18開催 参加者14名
- ②サポーター研修 1回/年 11/18「熱性けいれんとてんかん」講師：指導医 土居浩（参加者26名）
- ③全国病児保育研究大会in金沢 7/14、7/15 1名参加

(3) 病児保育事業の運営・周知

- ①利用者とサポーターとの交流会 5回/年（4月：19名、6月：22名、10月：18名、12月：25名、2月：26名）
- ②ホームページ等による広報
- (4) 雲仙市及び雲仙市内病児保育実施施設との情報交換
 - ①雲仙市病児保育協議会参加 開催なし
 - ②ほけんだよりの発行（3回/年発行の内、1回担当）秋号を担当 10月1日発行

9-4) 法人管理に関する事業

(1) 公益法人事業の推進

- ①定款、定款施行細則等の遵守ならびに諸規則の改定
 - a 定款・計画・実施との整合
- ②事業執行・運営体制の強化
 - a 県・支部事業のスムーズな連携、運営
 - b 役職員教育
 - ・7/20役員研修会「公益法人制度の概要と役員の役割について」
講師：長崎県総務部総務文書課 課長補佐 島田隆之
対象：本協会役員・事業部長

③報告書類等の作成・管理

- a 定期提出書類及び変更届等適正な事務報告
 - ・6/28定期提出書類（事業報告等）提出
 - ・7/31役員改選、登記後変更届提出
 - ・3/28定期提出書類（事業計画等）提出

(2) 諸会議の円滑な運営

- ①通常総会 6/15 通常開催
 - 出席者 7,906名（一般参加248名（支部会場32名含む）役員等117名、委任状 7,541名）
- ②理事会 4回以上/年 5/18、7/20、9/21、11/16、1/18、3/15
- ③業務執行理事会 1回以上/月 24回開催
- ④推薦委員会 必要時開催
- ⑤選挙管理委員会 必要時開催

(3) 事業等の円滑な運営

- ①事務局体制整備 事業部長会 1回/月
- ②事業部運営委員会 各事業部 2回/年
- ③事業・会計監査 2回/年 5/15（令和5年度全期）11/14（令和6年上半期）
- ④支部報告会 1回/年 各支部事業報告参照
- ⑤支部事業運営に関する会議等の開催
- ⑥支部事業活動の支援

事業内容

- ⑦日本看護協会との連携
- (4)会員の入会促進と管理（個人情報保護法遵守）《基盤強化事業》
 - ①入会促進
 - ・令和6年度会員数9,565名（令和5年度会員数9,831名）
 - a. 入会案内の検討
 - b. 支部（会員委員会等）の活動による
 - ②新人看護職員等への周知と入会促進
 - a. 看護キャリア支援センターとの連携
 - ③看護基礎教育機関の入学・卒業式、講演会への出席
 - ・入学式6校、卒業式9校、卒業記念講演2校
 - a. 「入会案内」冊子等の活用
 - ④施設訪問、行事等の活用、支部との連携
 - ⑤日本看護協会会員名簿データシステムの運用・管理
 - a. 入会の受付業務
 - b. 都道府県看護協会会員情報管理情報交換会出席
 - ⑥日本看護協会との連携体制の強化
 - a. ナースシップ（会員情報管理システム）活用に向けた支援
 - b. 会員マイページ「キャリナース」について協会だより・研修センターにて周知・登録促進
 - ・キャリナース登録者4,423名
 - ⑦会員に関する照会への対応
- (5)情報セキュリティ・個人情報の安全管理
- (6)職員の人事管理・労務管理の充実
 - ①職員の職務分掌と適正配置
 - ②働き方改革法に基づく労働環境の整備
 - ③永年勤続職員の表彰
 - ④職員研修会の開催・1回/年程度
 - ・10/1開催「コンプライアンス研修」参加者100名（オンライン含む）
講師：長崎県県民生活環境部人権・同和対策課 森法子
 - ・2/28開催 衛生委員会主催研修
「更年期についての講話－更年期不調（障害）－」参加者70名（オンライン含む）
講師：副会長 中尾優子（助産師）
 - ⑤福利厚生
 - ⑥衛生委員会の開催・1回/月（7回実施）、全体会1回以上/年（2/28開催）

9-5) 施設管理に関する事項

- (1)ながさき看護センター及び別館の管理
 - ①建物・機器等設備の管理、運営
 - a. 警備、清掃、管理等
 - ・7/16 空調機ハイブリッドファン設置
 - ②保守・修繕
 - a. 長期修繕計画に基づき実施
 - ・7/30 非常用放送設備機器取替
 - ・8/19 3F研修室A・B無線Wi-Fi取付
 - b. 防災訓練等の実施（1回/年以上）11/25
 - ③駐車場の保守・管理
- (2)長崎会館の管理
 - ①長崎会館解体に向けた諸準備
 - 5/26 引越し（長崎会館内在宅支援事業部事業所及び県南支部事務所）
 - 9/25 長崎会館お別れ式開催 出席者45名

県南支部事業報告

* 下線は新規事業

1. 繼続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 繼続教育に関する事業</p> <p>1) 繼続教育の推進</p> <p>(1)看護実践能力向上のための研修会の企画・開催・評価</p> <p>・ 2年目看護職員交流会（年1回）（11/14開催）12施設30名参加 「看護過程の実践活用」講師：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 保健学専攻看護実践科学分野 教授 黒田 裕美 ・ 病院・施設・在宅看護職員交流会（年1回）（2/15開催）8施設 15名参加 「病院・施設・在宅の現場で働く看護職の連携と情報共有」講師：ショートステイ女神乃里 施設長 大町 由里</p> <p>(2)重点事業2-3に基づく県南支部看護実践報告会の開催（年1回）（12/7）</p> <p>①開催周知、演題募集 6/1募集 ②抄録の結果通知 ③抄録集の作成、送付 11月中旬 ④看護実践報告会の開催 参加者数137名（うちオンライン99名）</p> <p>2) 交流会事業の周知とフィードバック</p> <p>(1)事業計画の作成、配布（4月）</p> <p>①県協会教育計画への掲載 ②事業一覧の作成、会員施設への送付（4/19）</p> <p>(2)交流会開催案内</p> <p>①ホームページによる交流会開催案内、実施報告（6/3、6/24、6/26、8/27、8/30、12/11、1/30） ②広報誌（県協会会報）による開催案内、実施報告（年3回）</p> <p>(3)アンケート結果のフィードバック</p> <p>①交流会アンケート結果（まとめ）の作成、ホームページにて報告（6/24）</p> <p>3) 事業運営の充実に向けた活動</p> <p>(1)委員会の開催（月1回程度）</p> <p>①教育委員会（7回開催） ②看護実践報告会委員会（5回開催） ③県協会教育担当者会議への出席</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 勤務環境改善への取り組み支援事業</p> <p>1) 健康で安全な職場づくりの推進</p> <p>(1)施設代表者会における周知、意見交換</p> <p>①重点事業2-1に基づく開催テーマに沿った各施設の情報交換 ②就業継続可能な働き方「5要因10項目」の周知・普及 看護の専門性を發揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡大 新興感染症の対応への情報交換</p> <p>2) 就業促進支援の推進</p> <p>(1)ナースセンターとの連携</p> <p>・ 5/11「看護の日」記念行事における相談ブース設置依頼</p>

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業(公益目的事業)

事業内容
1) 看護師業務の改善に関する事業 ・協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加
2) 保健師業務の改善に関する事業 ・協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加 ・保健師の入会促進
3) 助産師業務の改善に関する事業 ・協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加
4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供 ・施設代表者交流会の開催（年1回） 10/5 施設代表者交流会「タスク・シフト/シェア～看護補助者との連携～第2弾」 話題提供① 医療法人春回会 井上病院 看護部長 能田美穂 話題提供② 医療法人稻仁会 三原台病院 看護部長 池下壽賀子 参加者：29名

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業(公益目的事業)

事業内容
1. 在宅支援事業の推進 1) 地域包括ケアシステムの充実に向けた交流会等の開催 (1)重点事業3-1に基づく地域包括ケアに関する看看連携交流会（1回/年）（1月25日開催） 10施設 24名参加 話題提供① 長崎みなとメディカルセンター 患者総合支援センター 係長 宮川 江利 話題提供② 重工記念長崎病院 訪問看護ステーション 看護師長 中村 優子、副看護師長 川向 真弓 (2)長崎市地域包括ケアシステム推進室との意見交換会 (3)西彼地区の地域包括ケアに関する意見交換会
2) 地域交流推進活動 (1)「看護の日」記念行事の開催時、出張健康応援等の活動の推進、「元気なうちから手帳」の普及活動 ・5/11「看護の日」記念行事参加「元気なうちから手帳」の啓発（213冊配布） 場所：ベルナード観光通 参加協力：長崎市地域包括ケアシステム推進室 係長 高西 真実、白石 華怜
3) 自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議等への参画 (1)地域医療構想調整会議、地域包括ケアシステム推進会議等への参加 (2)地域意見交流会に関する事前アンケート協力
4) 令和6年度 全国高等学校総合体育大会への協力（7/26～8/7） 延べ10救護所、18名の看護師派遣
5) 日本スポーツマスターズ2024への協力（9/28～10/1） 延べ14救護所、14名の看護師派遣

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 健康相談、健康講座の開催</p> <p>1) まちの保健室事業の推進</p> <p>(1)「まちの保健室」の開催</p> <p>①地域イベントへの参加（春フェス・秋フェス）</p> <p>・5/19 長崎市健康づくり課主催「元気が一番たい！春の健康祭り」 場所：長崎市民会館 内容：血圧測定、血管年齢測定 参加市民：102名 事前予約制</p> <p>・10/27 長与町役場健康保険課開催 長与健康広場 場所：長与町ふれあいセンター 内容：血管年齢測定、血圧測定 参加者：約150名</p> <p>②「看護の日」記念行事の開催時、出張健康応援等の活動の推進</p> <p>・5/11「看護の日」記念行事参加「健康相談や予防指導を通じ地域住民と触れ合おう」 場所：ベルナード観光通 内容：血管年齢測定、血圧測定、乳房チェック体験、健康相談 参加者：延べ374名</p> <p>2)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及活動</p> <p>(1)「看護の日」記念行事の開催：5/11「看護のこころをつなげよう！」 場所：ベルナード観光通 内容：看護の仕事に関するパネル展、AED体験、聴診体験、健康相談、健康チェック、進路・就業相談、 「元気なうちから手帳」啓発配布 参加市民：約650名 アンケート：配布300、回収248（回収率82.6%）</p> <p>(2)ふれあい看護体験の実施（集合による交流会）：12/15(日)9:00～16:00 参加：14校128名、開催場所：長崎みなとメディカルセンター第1、2、3会議室 講師：救急看護認定看護師 石井 美保子、副看護師長 井本 真由美、クリティカルケア特定認定看護師 鶴 泰輔</p> <p>3) 会員・非会員看護職に向けた広報活動の充実</p> <p>(1)支部事業に関する情報提供</p> <p>①県南支部交流会開催案内、アンケート結果等を県協会会報へ掲載（年3回） ②県協会ホームページ支部活動管理・更新（支部事業に関する情報提供）(6/3、6/24、6/26、8/27、8/30、12/11、1/30)</p> <p>4) 事業運営の充実に向けた活動</p> <p>(1)委員会の開催（月1回程度）</p> <p>①まちの保健室委員会（5回開催） ②看護の日委員会（10回開催）</p>

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容
1. 会員支援に関する事業 1) 会員向けサービスの提供 (1)会員の福利厚生 ①表彰者の推薦
2. 渉外活動 1) 重点事業に関する渉外活動 (1)行政への要望活動（県協会との連携） (2)行政・関連機関の審議会等への委員派遣
2) 関連団体等との連携 (1)地域関連の会議・委員会等への協力 ①暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会（4/13） (2)関係団体への委員の派遣や推薦協力・開催時随時参加 ・済生会長崎病院地域医療支援病院運営委員会（4/24、8/7、11/6、1/22） ・長崎市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会（5/13、10/2） ・日本赤十字社長崎原爆病院地域医療支援病院運営委員会（5/28、8/27、11/26、2/25、3/27オンライン） ・長崎みなどメディカルセンター地域医療支援病院運営委員会（6/18、9/4、11/29、2/26） ・長崎市障害者施策推進協議会（7/2、8/20） ・地方独立行政法人長崎市立病院機構評価委員会（8/1、8/6、8/8） ・長崎市高齢者虐待防止ネットワーク運営委員会（8/6、2/27） ・長崎市人権教育・啓発審議会（8/7） ・長崎区域地域医療構想調整会議（9/25書面、2/14書面、3/25書面） ・長崎市地域医療審議会（11/11） ・長崎市地域包括ケア推進協議会（1/31全体）（2/4部会） ・まちんなかラウンジ連携調整会議推進委員会（9/17、3/13） ・西彼地域保健医療対策協議会（11/21、2/28） ・長崎市地域保健医療対策協議会（3/12） ・長崎平和ハーフマラソン実行委員会（1/22） ・長崎市表彰審査委員会（2/20） ・長崎地域リハビリテーション協議会（1/27） ・長与町介護保険運営協議会（1/16、2/19書面） ・「第2次健康長崎市民21」市民推進会議（1/9） ・長崎市防災会議（3/25） ・長崎市献血推進協議会（1/21） ・長崎市社会福祉協議会評議員会（6/19、12月書面） ・長崎市保健所運営協議会（3/21） ・長崎市介護認定審査会（定例） ・長与町介護保険認定審査会（定例） ・長崎市障害支援区分認定審査会（定例）
3. 法人管理に関する事業 1) 公益法人事業の推進 (1)総会・職能集会への参加 (2)理事会・支部長会議への出席
2) 事業等の円滑な運営 (1)支部会員集会（紙面報告）（年1回） 6/1 文書による報告書を送付（施設・個人宛） (2)運営委員会（（月1回）12回開催） (3)新旧合同委員会（年1回）（6/22）参加委員63名 (4)委員会の活動計画、報告
3) 会員の拡充の推進 (1)会員の入会促進 ①役員による施設訪問、施設代表者との協力
4. 施設管理に関する事項 1) 県南支部事務所の管理 (1)支部事務所設備の管理、点検、保守 (2)事務所移転に係る諸作業

県央支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 継続教育に関する事業</p> <p>1) 継続教育の推進</p> <p>(1)交流会の企画・運営・評価</p> <p>a. 2年目新人看護師交流会（10/19）目標参加施設：15件以上 参加人数45名以上 GW: 2年目の悩み、クリニカルラダー1への取り組み準備、目指す看護師像について話し合う（看護観重視） 参加者34名。患者の思いに寄り添う看護を目指す看護師増へと繋げる為、事例を事前に参加者へ配布し、各々で考えて参加、グループワークで立場・役割・悩み・不安などをディスカッションし、発表した</p> <p>b. 支部看護研修交流会（11/30）目標参加施設 15件、参加人数45名 事例を通して看護の本質（日常生活行動支援）を考える GW: 看護の本質（日常生活行動支援）をもっと充実させるために疎外因子と対策について意見交換 テーマ：「て・あーての実践」～熱布とて・あーての実践について 講師：医療法人朝陽会 美須賀病院 総看護師長 重美美代子 先生（Zoom講演） 参加者：51名</p> <p>2) 支部情報交流会に関する事業《重1-2》</p> <p>①支部情報交流会（3/1）、施設紹介、事例紹介、タスク・シフト/シェア報告等 12施設14例発表、参加者81名（発表者14名、委員14名含む）</p> <p>3) 県協会研修会への参加推進 *看護協会会員以外にも参加を進める（クリニック、訪問看護ステーション、市町の保健師にも案内文の郵送）</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 働き続けられる労働条件・環境づくり支援事業</p> <p>(1)施設代表者交流会（1回/年）（7/6） 「看護職の生涯学習」と現場が抱える院内・院外教育支援の課題テーマに情報交換をする（GW） 各施設の「看護師確保対策、離職防止対策」の意見交換（看護職やりがい感のアップ、処遇改善など）</p>

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1) 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)看護師職能委員会活動との連携 協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>2) 保健師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)保健師職能委員会活動との連携（看護職連携研修会） 協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>3) 助産師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)助産師業務の改善に関する事業 ・協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加 ・県央地域母子保健推進協議会参加（1名）</p> <p>4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供</p> <p>(1)情報交換及び最新情報の提供（ホームページにて県央支部事業報告と研修交流会の募集） (2)情報伝達方法を会員から意見を集め、理事会へ提案</p>

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1) 県央支部多職種連携会議（再掲） 年3回程度の打ち合わせ実施 テーマ：「地域包括ケアシステム構築に向けた多職種連携」 情報提供者：島原・南島原地区から3施設 多職種発表：訪問看護師・理学療法士・介護支援専門員 GW：話題提供を通して、更なる「地域包括ケア推進」においての自施設の課題と対策を参加者施設と討議する 参加施設：15件 参加人数：50人 ①保健所、市町の看護職（行政保健師）、地域包括支援センター等保健師との連携構築 ・諫早市健康福祉審議会 ・諫早市健康福祉審議会高齢福祉部会 「在宅医療・介護連携のための交流会」等への積極的参画 ※地区長参加の会議内容を支部長へ報告、支部長より県協会へ報告</p>

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1. 健康相談、健康講座の開催 1) まちの保健室活動の充実：全世代を対象と考えていく。 疾病の予防（血管年齢簡易検査等の実施を含む）、発症時の対策等を住民へ生活指導を実施 (1)「まちの保健室」の開催 ① 諫早地区 第2土曜日奇数月（西諫早公民館）7/13 従事者2名、来場者21名 9/14 従事者2名、来場者10名 11/9 従事者2名、来場者14名、1/11 従事者2名、来場者21名 3/8 従事者2名、来場者9名 第4土曜日偶数月（諫早図書館） 4/27 従事者2名、来場者12名、8/24 従事者2名、来場者10名 10/26 従事者2名、来場者12名、2/22 従事者2名、来場者10名 ② 大村地区 偶数月第3土曜日（長崎県立図書館）4/20 従事者3名、来場者27名 6/15 従事者3名、来場者30名 8/17 従事者3名、来場者34名 10/19 従事者3名、来場者30名 12/21 従事者3名、来場者22名、2/15 従事者3名、来場者34名 ③ 雲仙地区 11/16(土)「愛の夢未来センター」にてまちの保健室開催 従事者3名、来場者30名 手洗いチェック・足趾力測定（血管年齢測定器は島原地区で使用のためできなかった） * 地域の人々への健康指導（熱中症対策、感染症対策等）長期目標で、各年代層への健康相談：多職種及び行政と共にできないかの検討していく 2) 一般住民向け広報活動の推進 (1)依頼される地域イベント等への参加（救護班等） ①インターハイ救護 5会場へ76名派遣（7/22～8/12） ②日本スポーツマスターズ 救護 7会場へ28名派遣（9/18～10/1） ③長崎県ねんりんピック救護 5/11 3名派遣 ④島原地区花火大会 救護 1名派遣 ⑤のんこ諫早まつり 救護12名参加（9/14、9/15） ⑥おむら健康福祉まつり 10/20(日) シーハット大村にて 従事者10名、参加者 延べ331名以上 ・血管年齢測定 ・足趾力測定 ・パネル展示・健康相談（測定値に対する対応など） ⑦よらんね祭り救護 11/3(日) 2名派遣 ⑧糖尿病予防のつどい 11/17(日)島原保健センターにて 従事者8名、参加者67名 ・血圧測定 ・血管年齢測定 ・健康相談 ⑨健康しまばら福祉まつり 11/24(日)島原復興アリーナにて 従事者 7名、参加者204名 ・血圧測定183名 ・血管年齢測定197名 ⑩いさはや健康フェスティバル 11/10 栄町・ほんまち通り（アーケード）にて 従事者8名、参加者176名 ・血管年齢測定 ・足趾力測定 ・パネル展示・健康相談（測定値に対する対応など） ⑪ボランティアフェスティバル 1/26(日) 諫早市社会福祉会館にて 従事者 2名、参加者23名 ・血管年齢測定 ・健康相談 ・パネル展示</p>

- ⑫女・男フォーラムinいさはや 2/9(日)諫早市民センターにて 従事者2名、参加者22名
 ・血管年齢測定 ・健康相談
- ⑬市民ポッチャ大会(9/14) 小浜体育館にて 従事者5名 参加者56名
 ・血管年齢測定、血圧測定後パネルを利用して健康相談
- ⑭レクレーション＆スポーツフェス(10/20) 吾妻体育館にて 従事者5名 参加者81名
 ・足趾力測定 ・手洗いチェック ・血圧測定(血管年齢測定器を他で使用の為、他の健康相談等を実施)

3) 会員・非会員に向けた広報活動の充実(再掲)

(1)会員への支部情報等の提供

協会だより・ホームページ、日本看護協会発刊看護情報関連冊子等の活用

4) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進

(1)看護の日記念事業の開催(5/11) 参加者280名

講演:「災害医療支援を経て感じたこと」 講師 泉川病院 看護局 病院部長:平田光

講演:「笑いヨガ」講師:笑いヨガたかね俱楽部 佐藤たかね

他、看護体験、県内看護学校、大学の掲示、県央支部内施設紹介の掲示など

高校生の「ふれあい看護体験」の発表(6名)

(2)ふれあい看護体験の実施、高校への広報、協力医療機関等の依頼(各地区、訪問看護事業所にも依頼)

①高校への広報、協力医療機関等の依頼(諫早地区、大村・東彼地区、島原・南島原地区、雲仙地区)

8/6開催

諫早地区 13施設、愛野記念病院 48名

大村・東彼地区 7施設 50名

島原・南島原地区 7施設 23名

雲仙地区 1施設 4名

合計125名

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業(法人管理に関する事業)

事業内容

1) 会員支援に関する事業

(1)各施設の問題点把握をし、県協会及び理事会で報告する、県協会と各施設との橋渡しをする

(2)会員向けサービスの提供

①会員の福利厚生 表彰者の推薦

2) 涉外活動

(1)行政、関連機関、団体等の会議等への参加、情報交換。内容は会長へ報告する。

・諫早市健康づくり推進協議委員会(5/27)

・川棚医療センター地域運営会議(6/27、11/28、2/27)

・県南区域医療構想会議(2/26) Zoom

・県央区域医療構想会議(3/6) Zoom

・諫早市福祉審議会医療部会(10/31、1/30)

・諫早市環境保全委員会(3/11)

・大村市民病院市民運営会議(2/19)

・県央地域リハビリテーション会議(1/23)

・長崎県央看護学校入学式(4/4)

・向陽学園100周年行事(4/20)

・長崎県央看護学校戴灯式(11/21)

・長崎県央看護学校卒業式(3/4)

・諫早市防災会議(3/5)

・「女・男フォーラムinいさはや」実行委員会(6/26、10/2、11/27、1/22、2/9)

・糖尿病予防のつどい 代表者会議(6/19、7/16)

・健康しまばら福祉まつり 関係者会議(8/9、11/7)

・島原医師会看護学校 宣誓式(10/30)

・県南地域リハビリテーション連絡協議会(1/25)

・県南圏域職域連携推進協議会(2/9)

・全国高等学校総合体育大会実行委員会(11/21)

・おおむら健康福祉まつり実行委員会(5/29、6/28)

・諫早総合病院地域運営会議(8/22、12/12)

・諫早市地域包括ケア会議(1/15)

事 業 内 容

- ・島原市在宅医療・介護連携検討委員会（5/22、3/18）
 - ・島原市在宅医療・介護連携検討委員会作業部（6/26、12/3、3/3）
 - ・島原市在宅医療・介護連携検討委員会情報共有検討部会（7/23、9/5、10/25、2/5）
- 長崎県看護協会総会資料参照、地域イベント等への参加（参照）

3) 法人管理に関する事業

(1)諸会議の円滑な運営

- ①総会（6/15） 三職能交流会への参加
- ②理事会・支部長会議への出席 5/17、6/15、7/20、1/18
- ③支部会員集会（1回/年）（6/22） 67名参加
- ④支部運営委員会（1回/月） 4/9、5/22、6/18、7/18、8/16、9/27、10/28、11/20、12/20、1/21、2/20、3/11
- ⑤拡大委員会（2回/年） 4/18（参加45名）、6/22（参加64名）

(2)事業等の円滑な運営

- ①各地区的定例委員会

（大村地区、島原・南島原地区、雲仙地区）

- ②委員会の開催（教育、会員、看護の日、まちの保健室）

県央支部要綱、各地区長要綱、支部内各委員会内規の周知を行う

R6年度重点目標、基盤強化について周知を図る

(3)会員の拡充の推進（再掲）

- a. 会員増加にむけてポスターを作成し施設・学校へ案内文送付（県協会執行部及び地区長と支部長における施設訪問）
- b. 看護学校の入学式及び卒業式等への出席 4/4長崎県央看護学校入学式、4/20向陽学園100周年行事
11/21長崎県央看護学校戴灯式、3/4長崎県央看護学校卒業式
- c. 事業・交流会の機会活用
- d. 施設代表者交流会で必ず議題とする：施設代表者の意識の統一を図る（問題点の共有を図る）
- e. 協会会員のメリットの模索（支部長会との連携）会員の増に対する支部会員の意見を聴取し、理事会へ報告する。
(年会費、研修費等も含む)（再掲）

県北支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1. 継続教育に関する事業</p> <p>1) 継続教育の推進</p> <p>(1)支部交流会の企画・運営・評価</p> <p>①2年目看護職員交流会</p> <p>日時：8/17(土) 14:00～16:00 参加者：12名</p> <p>講師：佐世保共済病院 J N A認定看護管理者 経営推進室部長兼副看護部長 森山 栄子</p> <p>テーマ：看護師としてのキャリア形成～自信をもって看護を実践する～</p> <p>2) 支部看護研究に関する事業</p> <p>(1)長崎県看護キャリア支援センター文献検索の活用</p> <p>3) 県協会研修会への参加推進</p> <p>(1)研修センター教育計画参照</p> <p>(2)県協会主催教育担当者会議への出席</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1. 働き続けられる労働条件・環境づくり支援事業</p> <p>1) 就業継続が可能な看護職の働き方の周知・広報</p> <p>2) 各施設のタスク・シフト/シェアに関する情報交換</p> <p>3) 看護職員の確保定着推進（同上）</p> <p>(1)ナースセンターとの連携</p> <p>(2)看護キャリア支援センターとの連携</p> <p>長崎県看護キャリア支援センター運営会議への出席 4/22</p>

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1) 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>職能運営委員会（1回/月） 8回開催</p> <p>2) 保健師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>3) 助産師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供</p> <p>(1)情報交換及び最新情報の提供</p> <p>①施設職員交流会（1回/年）</p> <p>日時：10/12(土) 14:00～16:00 参加者：17名</p> <p>講師：佐世保共済病院 緩和ケア認定看護師 大成 恵梨子</p> <p>テーマ：患者・家族の意思決定を支える看護～気持ちを汲み取るためのヒント～</p> <p>②施設代表者交流会</p> <p>日時：11/16(土) 14:00～16:00 参加者：10名</p> <p>講師：長崎労災病院 看護部長 柏木 美佐子</p> <p>テーマ：ハラスマントについて</p> <p>③県協会会報の「地区支部だより」にて情報発信（3回/年） 92号（4月発行） 93号（9月発行） 94号（1月発行）</p> <p>④県協会ホームページの「支部活動」にて情報発信（適宜）</p> <p>5) 医療・看護・介護の安全の普及に関する事業（県協会事業との連携）</p>

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業

事業内容
1) 在宅支援事業の推進
(1)地域包括ケアシステムの充実に向けた会議・研修等の開催
①「在宅医療・介護連携のための交流会」への積極的な参画 看護職連携構築ネットワーク会議 2/8 開催中止（降雪による悪天候予想のため）
(2)自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議、研修会等への積極的な参画
①「在宅医療・介護連携推進事業」による事業等への協力と積極的参画 ②「地域医療構想調整会議」への参加

5. 人々の健康生活に必要な知識・技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1. 健康相談、健康講座の開催
1) まちの保健室活動の充実 「まちの保健室」の開催 開催場所・日時は適宜調整のうえ開催
2) 住民対象の講座等の開催
3) 相談事業の推進
4) 一般住民向け広報活動の推進
(1)地域イベント等への参加 ①平戸市健康福祉まつり 10/27(日) 参加中止（衆議院選挙投開票会場となったため） ②デンタルフェスティバル 日時：6/2(日) 11:00～14:00 場所：まちなかコミュニティセンターおよび三ヶ町アーケード 実施内容：血圧測定・血管年齢測定・乳がん触診体験・健康相談 など 訪問者数：5名
(2)協会事業等のPR ①協会案内、看護の心普及ポスター等の活用 ②地域活動をとおしてPR
5) 会員内外に向けた広報活動の充実・会員及び看護職員への情報提供の充実
(1)会員への情報周知 協会だより・ホームページ、日本看護協会発刊看護情報関連冊子等の活用
(2)支部情報等の提供 ①県会報の「地区支部だより」にて情報発信（3回/年） 92号（4月発行） 93号（9月発行） 94号（1月発行） ②県ホームページの「支部活動」にて情報発信（適宜）
6) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進
(1)看護の日記念事業 ①「看護の日」フェスタ開催 日時：5/11(土)13:00～15:00 訪問者数：約130名 場所：十八親和銀行本店正面入口広場（させぼ四ヶ町アーケード内） 内容：【各種体験コーナー設置】聴診器体験 正しい手の消毒方法 車いす試乗体験 血中酸素濃度測定体験 白衣試着体験（記念撮影付き） 【福祉用具展示】ノルディックウォーキングポール展示 ポールを使った歩き方の指導など 【まちの保健室】血圧測定 乳がん触診体験 血管年齢測定 健康相談 など ②看護週間に全会員がバッジ着用 5/12～5/18（かんごちゃんバッヂ 会員施設へ配布（残1,000個）） ③地域事業等でのPR、取材等への積極的対応等

事業内容

(2) ふれあい看護体験の実施

高校への広報、協力医療機関等の依頼（8/7(木)コロナ感染症流行により中止）

【代替企画】

日時：11/30(土)14:00～17:00 参加者：24名/7校

場所：長崎県看護キャリア支援センター

内容：＜看護師による体験談発表＞

*新卒看護師（2名）

テーマ「聞いてみたい、高校時代から現在までのリアルな日常」

発表者：佐世保中央病院 吉村友里・長崎労災病院 池田鈴香

*助産師

テーマ「助産師の仕事ってどんな仕事？」

発表者：佐世保共済病院 福田亮子

*クリティカルケア認定看護師

テーマ「クリティカルケア認定看護師を知ろう～特定分野を極めたスペシャリストの活動～」

発表者：佐世保市総合医療センター 小林望

＜看護技術体験＞

バイタルサイン測定・車いす試乗・手洗いチェック・シーツ交換

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容

1) 会員支援に関する事業

2) 涉外活動

(1) 重点事業に関する渉外活動

①施設訪問

(2) 関連団体等との連携

①関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣

・令和6年度全国高等学校総合体育大会佐世保市実行委員会 4/19 12/24

・地域医療支援病院運営委員会 5/16（オンライン） 9/5（オンライン） 12/10（オンライン） 2/12（オンライン）

・デンタルフェスティバル合同協議会 5/20 2/6

・佐世保市地域保健医療対策協議会 8/19

・佐世保市歯・口腔の健康づくり推進協議会 8/23 2/13

・平戸市福祉健康まつり実行委員会 7/3

・地方独立行政法人佐世保市総合医療センター及び地方独立行政法人北松中央病院評議会 9/27（オンライン）

10/29（オンライン） 2/5（オンライン）

・佐世保市総合防災訓練 9/1

・佐世保地域リハビリテーション連絡協議会 1/27

・佐世保市小値賀町介護認定審査会 定期開催

②歳末助け合い募金への協力

・各施設から総額179,753円の寄付

【内訳】 佐世保市社会福祉協議会	100,000円	松浦市社会福祉協議会	25,000円
------------------	----------	------------	---------

平戸市社会福祉協議会	25,000円	西海市社会福祉協議会	20,000円
------------	---------	------------	---------

日本赤十字社長崎県支部	9,753円	
-------------	--------	--

3) 法人管理に関する事業

(1) 諸会議の円滑な運営

①理事会・支部長会議出席 5回出席

②新年度計画冊子 6月下旬発送

③支部運営委員会（1回/月） 12回開催

(2) 公益法人事業の推進

①公益事業執行・運営体制の強化（会員への周知）

事 業 内 容

(3)事業等の円滑な運営

①委員会の開催

各種委員会 (1回/月)

教育運営委員会 12回開催

事業運営委員会 12回開催

総務運営委員会 10回開催

会計運営委員会 12回開催

(4)会員の入会促進と管理 (個人情報保護法遵守)

①会員募集

a 看護学校の入学式及び戴帽式、卒業式等への出席

・佐世保市立看護専門学校 戴帽式出席 9/6

・佐世保市医師会看護専門学校 閉校式 3/1

b 事業・交流会の機会活用

c 施設訪問 (再掲)

②施設職員交流会の開催 (1回/年) (再掲)

4) 施設管理に関する事項

(1)県北支部事務所の管理

①機器等設備の管理、運営

下五島支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1) 継続教育に関する事業</p> <p>(1)研修の企画・実施・評価</p> <p>①本部からの研修プログラムへの参加 研修センター教育計画参照 協会研修会への参加推進</p> <p>②離島就業看護職研修（長崎県看護キャリア支援センター事業への協力）開催 開催日：10/26(土) 13:30～15:30 テーマ：メンタルヘルス・ストレスマネジメントについて 講 師：長崎県精神医療センター 精神科認定看護師/副看護部長 松尾 洋一</p> <p>③4離島交流研修会 開催日：9/12(木) 18:00～19:30 テーマ：地域医療で働く看護師の役割 講 師：長崎県対馬病院 院長 八坂 貴宏 配信会場：対馬支部</p> <p>各施設への案内、受講希望者の確認、対馬支部へ受講希望者の報告</p> <p>④県協会教育担当者会議への出席</p> <p>各施設へ「しまWEBだより」の案内</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1) 勤務環境改善への取り組み支援事業</p> <p>(1)看護職の働き方改革推進事業</p> <p>①「就業可能な看護職の働き方」看護職の就業継続を可能とする5要因10項目について周知・広報 ・五島保健所地域・職域連携推進協議会の構成委員として、「ごとう健康づくりニュース（R6年冬号）」へ投稿 日本看護協会の『ワーク・ライフ・バランスの実現』を紹介</p> <p>②各施設のタスク・シフト/シェアについて情報交換</p> <p>(2)看護職の確保定着促進</p> <p>①ナースセンターとの連携</p> <p>②「しまで活躍するナース達」への情報提供及び配布 『しまの情報誌』への『しまナース原稿』の投稿 ・各施設の看護職確保の取組内容の情報共有</p>

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1) 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>2) 保健師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>3) 助産師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>4) 三職能合同交流会への参加 テーマ「女性の健康を考える～私のからだ作り、男性も女性も知ってほしい女性のからだの変化～」 日 時：6/15(土)13:30～16:00 場所：長崎県五島中央病院講義室（本部からの配信）（再掲）</p>

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 在宅支援事業の推進 (1)地域包括ケアシステムの充実、地域医療構想等の実現に向けた看護職役割発揮のための支援 ①保健所・市町の看護職（行政保健師）、地域包括支援センター等保健師との連携構築 ・各施設の在宅医療の状況、訪問看護ステーションの現状についての情報共有

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 健康相談、健康講座の開催 (1)「まちの保健室」の開催 ①「看護の日」 5/11(土)10時～12時、商業施設前にて ②地域からの依頼によるイベントタイプ型開催予定・・・「救急の日」「長崎県五島中央病院健康まつり」他 (2)住民対象の講座等の開催 ①地域住民への公開講座 ・地域イベント等への参加 8/1日(木)「五島市市制施行20周年記念式典」出席 ②地域住民の自主活動支援、ボランティア活動支援 ・5/7(火)「五島長崎国際トライアスロン大会」開催における事前説明会出席 ・6/10(月)「五島長崎国際トライアスロン大会」メディカルスタッフ事業協議会出席 ・6/23(日)「五島長崎国際トライアスロン大会」メディカルスタッフ派遣 ・1/9(木)「五島つばきマラソン」開催のメディカルスタッフ派遣に関する打合せ ・3/2(日)「五島つばきマラソン」メディカルスタッフ派遣 (3)相談事業等の推進 ①「まちの保健室」 ・9/10(火)「救急の日」による『まちの保健室』を開催 (4)会員・非会員看護職に向けた広報活動の推進 ・日本看護協会の『ワーク・ライフ・バランスの実現』を紹介した「ごとう健康づくりニュース（R6年冬号）」を、地域・職域連携推進協議会の施設62か所へ送付。 ・来年度新規入会者への案内 (5)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進 ①看護の日記念事業の開催 a 5/11(土)実施 b ポスター・チラシの配布 (6)「看護の心」普及事業（次世代育成） ①高校生の一日看護体験広報・周知の拡大

9. その他本協会の目的を達するために必要な事業（収益事業等／法人管理に関する事業）

事業内容
1) 法人管理に関する事業 (1)公益法人事業の推進 ①長崎県看護協会（本部）との連携・協力 (2)諸会議の円滑な運営 ①通常総会への参加 ・令和6年度長崎県看護協会通常総会 日時：6/15(土)9：30～12：30 場所：長崎県五島中央病院講義室（本部からの配信）下五島支部配信会場参加 ・支部運営会議 月1回 12回開催 長崎県五島中央病院にて開催 ②理事会への出席 7回出席 ③支部長会議への出席 6回出席 (3)会員の入会促進と管理（個人情報保護法遵守） ①入会促進（入会案内冊子、しまで活躍するナース達 等の活用） ②新人看護職員等への周知と入会勧奨 ③事業・研修機会の活用

上五島支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 継続教育に関する事業</p> <p>1) 継続教育の推進</p> <p>研修会の企画・運営・評価</p> <p>(1)通配信機器活用による研修</p> <p>4 離島間配信研修会（1回/年） 発信支部：(対馬) 日時：9/12(木)18:00～19:30 テーマ：地域医療で働く看護師の役割 講師：長崎県対馬病院 院長 八坂貴宏 上五島より22名参加</p> <p>(2)支部研修会</p> <p>2) 県協会研修会への参加推進</p> <p>(1)研修センター教育計画参照</p> <p>(2)協会研修会への参加推進</p> <p>(3)長崎県看護キャリア支援センター事業への協力・参加 離島就業看護者研修会 開催日：10/26(土)13:30～認知症患者への支援・多職種連携へのアプローチ 佐世保共済病院 認知症看護認定看護師 久田大貴 20名参加（病院職員、包括支援センター、高齢者施設職員）</p> <p>(4)県協会教育担当者会議への出席</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 健康で安全に働き続けられる職場づくりの推進</p> <p>1) 看護職の働き方改革の推進</p> <p>(1)「就業可能な看護職の働き方」看護職の就業継続を可能とする5要因10項目について周知・広報</p> <p>(2)夜勤・交代制勤務に関する活動推進</p> <p>(3)プラチナ世代看護職の勤務継続支援</p> <p>(4)タスク・シフト/シェアについての情報交換</p> <p>2) 看護職員の確保定着推進</p> <p>(1)ナースセンター事業との連携 届出制度の周知</p> <p>(2)「しまで活躍するナース達」への情報提供 「2024年看護への道フェア」へ 看護師1名参加 8/6(火)13:00～16:00 県内の高校生や中学生、保護者などへ、看護師の仕事内容や魅力について</p>

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>1) 看護師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>2) 保健師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>3) 助産師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供</p> <p>(1)情報交換及び最新情報の提供：研修会等の活用</p>

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 在宅支援事業の推進</p> <p>1) 地域包括ケアシステムの充実に向けた会議・研修会等の開催</p> <p>(1)地域包括ケアシステムに関する看護職連携を図る交流会・学習会の開催 「当地域の認知症対策の確認、及び島外地域の認知症対策を知ろう」 講師：大村市福祉保健部長寿介護課・大村市地域包括支援センター 小値賀町地域包括支援センター・新上五島町地域包括支援センター</p> <p>日時：1月31日(金)17:30～18:30 会場：上五島病院</p> <p>2) 自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議、研修会等への積極的な参画</p> <p>(1)地域包括ケアシステムに関する会議等への参加 (2)上五島地域保健医療対策協議会への協力</p>

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 健康相談、健康講座の開催</p> <p>1) まちの保健室活動の充実</p> <p>(1)健康・看護・介護等の相談事業 (2)看護協会事業等のPR (3)地域のイベント時に開催（1回/3か月程度）</p> <p>6/23(日)10:00～12:00 新上五島町役場主催「健康まつり」へ参加し、健康相談・血圧測定・体脂肪測定・血管年齢測定を実施。役員4名参加。 予定日：9/15 11/3 1/19 3/16</p> <p>9/15(日)実施 訪室者20名・血圧測定、体脂肪測定、健康相談実施 11/3(日)実施 開催場所を変更 訪室者22名・血圧測定、健康相談 2/2(日)コロナ感染拡大の為中止 3/16(日)実施 訪室者約50名 上五島薬剤師主催の「あおかた暮らしの保健室」と共同で、血圧測定、健康相談、不整脈チェックを実施</p> <p>2) 住民対象の講座等の開催</p> <p>(1)出前講座等の開催</p> <p>3) 一般住民向け広報活動の推進</p> <p>(1)地域イベント等への参加協力</p> <p>9/22(日) 上五島トライアスロン大会 救護班3名 10/19(土) 涼風マラソン大会 救護班1名 10/27(日) ジョギングフェスティバル 救護班1名 12/8(日) 駅伝フェスティバル 救護班2名 看護協会活動紹介ポスター掲示</p> <p>(2)看護協会事業等のPR</p> <p>地域活動を通してPR、看護の心普及ポスター等の活用</p> <p>4) 「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及</p> <p>(1)看護の日記念事業の開催 5/19(日)地域イベント開催日に合わせて実施 パネル展示「看護の日とは」「看護職になるには」 健康相談・血圧測定・体脂肪測定実施。役員5名参加。 (2)ふれあい看護体験（施設見学・看護体験等）</p> <p>高校生への広報、協力医療機関等の依頼 実施日時：8/9(金)13:30～17:00 場所：上五島病院 内容：島内の高校生7名が参加し、血圧測定、血糖測定、車いす乗車と移送体験、寝た切り患者の体重測定、CPM体験、心電図検査体験、PPE着脱体験、施設内見学、意見交換会を実施 運営委員6名参加（他看護職4名協力）</p>

9. その他本協会の目的を達するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容
<p>1) 会員・非会員に向けた広報活動の推進 (1)会員及び看護職員への情報提供の充実 (2)会員への情報周知 (3)協会だより・ホームページの活用 (4)日本看護協会発刊看護情報関連冊子等配布</p> <p>2) 渉外活動 (1)重点事業に関する渉外活動 (2)関連団体等との連携 地域関連の会議・委員会等への参加、情報交換、委員等の派遣 ①上五島地域保健医療対策協議会委員 2/27(木) ②上五島地域・職域連携推進協議会 2/6(木) ③上五島地域若者定着促進連携会幹事 ④上五島区域地域医療構想調整会議 3/26(水)</p> <p>3) 法人管理に関する事業 (1)諸会議の円滑な運営 ①県通常総会参加 (6/15) ②理事会・支部長会議への出席 6回出席 (2)事業等の円滑な運営 ①支部報告会 (1回/年) 6/27(木) 17:30～18:30 ②支部運営委員会開催 (1回/2か月程度) 4回開催</p> <p>4) 会員の入会拡充と管理（個人情報保護法遵守） (1)会員増加への働きかけ ①新人看護師および採用者、施設看護職員への働きかけ 入職時オリエンテーションで説明 ②「入会案内」の活用 ③事業・研修機会の活用 看護協会活動及び各研修案内掲示</p>

壱岐支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1. 継続教育に関する事業</p> <p>1) 継続教育の充実推進</p> <p>(1)研修の企画・運営・評価</p> <p>①離島間通配信研修会 研修会1回/年開催（発信支部：対馬支部） 日時：9/12(木)18:00～ 場所：長崎県壱岐病院第一会議室通配信にて10名参加 テーマ：離島地域医療 講師：対馬病院 八坂院長</p> <p>②島内看護職交流会 日時：7/25(木) 31名参加 テーマ：ストーマケアの看護実践 講師：皮膚排泄ケア認定看護師 横山操</p> <p>(2)県協会研修会への参加推進</p> <p>①研修会参加のための経費助成</p> <p>(3)長崎県看護キャリア支援センター事業への協力</p> <p>離島就業看護職員研修</p> <p>①離島就業看護職員研修 日時：9/7(土) 13:30～ 場所：壱岐病院第1会議室 15名参加 テーマ：職場におけるハラスメントについて 講師：精神医療センター 副看護部長 吉井美和</p> <p>(4)県協会教育担当者会議への出席</p>

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1. 働き続けられる労働条件・環境づくり支援事業</p> <p>1) 「就業可能な看護職の働き方」看護職の就業継続を可能とする5要因10項目について周知・広報</p> <p>2) 看護職員の確保定着推進</p> <p>(1)「しまで活躍するナース達」への情報提供及び配布</p> <p>3) 看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡大</p>

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
<p>1) 看護師職能委員会活動との連携</p> <p>(1)協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加</p> <p>2) 保健師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)協会保健師職能委員会企画（交流会・研修会）への参加</p> <p>3) 助産師業務の改善に関する事業</p> <p>(1)助産師業務の改善に関する事業 研修会・交流会等への参加 (2)母子保健の向上に関する事業</p> <p>4) 会員間の情報交換及び最新情報の提供</p> <p>(1)情報交換及び最新情報の提供 研修会等の活用</p> <p>(2)交流会の開催 壱岐地区看護代表者会の開催</p> <p>5) 医療安全の普及に関する事業及び安全・安心な医療・看護の提供の推進</p>

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1) 在宅支援事業の推進</p> <p>(1)医療的ケア児の在宅移行支援事業への協力</p> <p>日時：10/8(火)10：00～14：50 場所：長崎県壱岐病院 研修センター会議室</p> <p>講義：重症心身障がい児（者）の病態生理 長崎県医療的ケア児センター センター長（医師）岡田 雅彦</p> <p>演習：みさかえの園あゆみの家 副看護部長 加茂ゆかり 看護主任 松尾翔太</p> <p>①研修会・交流会の参加</p> <p>②行政、訪問看護、学校、保育所等、医療的ケア児に関わる関係部署との情報共有</p> <p>(2)地域包括ケアシステム推進に係る会議、研修会等への積極的な参画</p> <p>①地域包括ケアシステムに関する会議等への参加 「在宅医療・介護連携のための交流会」等への積極的な参加</p> <p>壱岐区域地域医療構想調整会議 7/10 9/18 2/12参加</p> <p>壱岐地域リハビリテーション連絡協議会 1/29参加</p> <p>②壱岐地域保健医療対策協議会への協力 2/19会議参加</p>

5. 人々の健康生活に必要な知識及び技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1. 健康相談、健康講座の開催</p> <p>1) まちの保健室活動の充実</p> <p>(1)「まちの保健室」の開催</p> <p>・地域イベント時に開催（3回）</p> <p>11/3(日)勝本まつりイベント時に町の保健室開催 参加人数38名</p> <p>12/1(日)虹色商工祭イベント時に町の保健室開催 参加人数30名</p> <p>・市の特定健診キャンペーン参加</p> <p>健康教育、血圧測定、健康相談 等</p> <p>・健康・看護・介護等の相談、出前講座等への講師派遣</p> <p>(2)住民対象の講座等の開催</p> <p>(3)一般住民向け広報活動の推進</p> <p>①地域イベント等への参加</p> <p>・壱岐市産業まつりイベント参加</p> <p>②協会事業等のPR</p> <p>・協会案内、看護の心普及ポスター等の活用</p> <p>・地域活動をとおしてPR</p> <p>6/23(日) 少年剣道大会における救護員 看護師1名派遣</p> <p>(4)会員内外に向けた広報活動の充実</p> <p>①会員及び看護職員への情報周知、就業促進</p> <p>・支部ニュース（広報誌を本部で発行・年3回）</p> <p>・協会だより・ホームページ、日本看護協会発刊看護情報</p> <p>情報関連冊子等の活用</p> <p>②支部情報等の提供</p> <p>③社会貢献への広報</p> <p>④地域関連の会議・委員会等への協力</p> <p>(5)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進</p> <p>①看護の日記念事業 5/12(日) 郷ノ浦八日市にて「まちの保健室」大雨にて中止</p> <p>「看護の日」記念グッズ、チラシ次年度配布</p> <p>②看護の日・看護週間「看護の心」の普及促進</p> <p>・地域事業等でのPR、取材等への積極的対応等</p> <p>・「看護の日」ポスター、チラシ等の活用</p> <p>③ふれあい看護体験（施設見学、看護体験等）の実施</p> <p>・高校への広報、協力医療機関等（訪問看護事業所にも）の依頼</p> <p>7/31(水)</p>

9. その他本協会の目的を達成するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事 業 内 容
<p>1) 会員支援に関する事業 (1)会員向けサービスの提供 ①会員の福利厚生の充実 ・表彰者の推薦 慶弔・災害見舞等</p> <p>2) 渉外活動 (1)重点事業に関する渉外活動 (2)関連団体等との連携</p> <p>3) 法人管理に関する事業 (1)諸会議の円滑な運営 ①6/15(土) 通常総会参加 壱岐支部配信会場参加 ②理事会・支部長会議への出席 7回出席 ③支部報告会開催 (1回/年) 6/15(土) ④支部運営委員会開催 (1回/月) 9回開催</p> <p>(2)公益法人事業の推進 ①新公益事業執行・運営体制の強化 (会員への周知)</p> <p>(3)事業等の円滑な運営</p> <p>(4)会員の拡充の推進 ①会員増加への働きかけ ・施設看護職員への働きかけ ・「入会案内」冊子、「しまで活躍するナース達」等の活用 新規採用者への協会入会の案内配布 ・事業・研修の機会活用</p>

対馬支部事業報告

1. 継続教育及び看護学会等学術集会に関する事業（公益目的事業）

事 業 内 容
1) 継続教育に関する事業
(1)継続教育の推進
研修の企画・運営・評価
①対馬支部研修会
開催日：7/6(土)
会場：長崎県対馬病院 会議室
テーマ：職場内でのハラスマント、上司や部下と上手く付き合う方法
講 師：長崎精神医療センター 精神科認定看護師 山中利文
目 的：職場内でのハラスマントと上手く付き合う方法や改善点を見出し、意見交換・情報共有の場とする。
ストレスを軽減し、職場環境の改善に繋げる。
(講義時間90分 質御応答30分 意見交換・交流会30分)
参加者：29名
②通配信機器活用による研修（4離島間通配信研修）
〈対馬支部配信〉
開催日：9/12(木)18:00～19:15
配信会場：長崎県対馬病院 大会議室から配信
上対馬病院、上五島病院、五島中央病院、訪問看護ステーション福江、聖マリア病院、壱岐病院
テーマ：島で働く看護師のプロフェッショナルについて
講 師：長崎県対馬病院 院長 八坂貴宏
目 的：離島へき地で働く看護師の役割を再認識し、今後の看護の仕事の向上に繋げる
(講義60分 質疑応答30分)
参加者：91名（対馬47名、壱岐11名、上五島22名、下五島12名）
③離島就業看護職員研修 ※長崎県看護キャリア支援センター事業への協力
開催日：11/9(土) 13:15～14:45
会場：長崎県対馬病院 2階大会議室
テーマ：摂食嚥下障害、食べさせることへの看護
講 師：佐世保中央病院
摂食嚥下障害看護認定看護師 久田佳寿美
目 的：摂食嚥下障害患者のアセスメント能力を向上させ、食事への看護ケアについて学ぶ。
個々の患者に合わせた、対応が出来き、スタッフ間での情報を共有する事が出来る。
(講義時間90分 質御応答30分)
参加者：26名
(2)県協会研修会への参加推進
2) 看護研究に関する事業
(1)看護研究報告会の開催及び研修会
開催日：3/1(土) 会場：長崎県対馬病院 会議室
テーマ：看護研究発表会及び講演
講 師：長崎県精神医療センター 精神看護専門看護師 村島 正俊
目 的：研究発表会と研究計画書について、データー収集方法について学ぶ。
(研究会60分 講義時間90分 質御応答30分)

2. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公的目的事業）

事業内容
1) 勤務環境改善への取り組み支援 (1)日本看護協会の働き方改革モデルの普及 (2)看護職員の確保定着推進 ①「しまで活躍するナース達」への情報提供 ②ナースセンター事業との連携 届け出制度の周知 ③中学・高等学校との連携、学校訪問等 高校生を対象とした職業講話および進路関連講話 (3)看護の専門性を発揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡大 対馬地域の病院、施設の看護師間の交流、情報交換会の開催 (上地区、下地区に分かれて、施設間での意見及び情報収集) 支部における課題把握し、施設代表者会議での情報提供

3. 看護にかかる調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言等に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 看護師業務の改善に関する事業 ①協会看護師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加 2) 保健師業務の改善に関する事業 ①協会保健師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加 3) 助産師業務の改善に関する事業 ①協会助産師職能委員会企画（研修会・交流会）への参加

4. 地域ケアサービスの実施及び促進等による人々の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

事業内容
1) 在宅支援事業の推進 (1)地域包括ケアシステムの充実に向けた会議・研修会等への積極的な参画 (2)自治体が開催する地域包括ケアシステム推進に係る会議、研修会等への積極的な参画 ①対馬市の地域包括ケアシステムに係る委員会、会議等への参加 a 対馬市地域包括ケア推進会議 b 対馬市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会 c 対馬市食育推進会議 ②対馬市が開催する「在宅医療・介護連携推進事業」による事業への協力と積極的参画 ③「地域医療構想調整会議」「対馬地域保健医療対策協議会」 「対馬地域リハビリテーション連絡協議会」

5. 人々の健康生活に必要な知識、技術並びに看護の心の普及啓発に関する事業（公益目的事業）

事業内容
<p>1) 健康相談、健康講座の開催</p> <p>(1)「まちの保健室」活動の充実</p> <p>①「まちの保健室」の開催 地域のイベント時に開催 健康・介護・看護相談の実施、血圧測定等健康チェック 4/21(日)キラキラウォーク 訪問者：31名 5/11(土)看護の日のイベント 訪問者：25名 5/19(日)城下町ウォーキング 訪問者：25名 6/23(日)国境マラソン 事前の健康チェック 訪問者：25名 救護ボランティアで看護師が参加 11/9(土)神話の里 ウォーキング 訪問者：25名 11/24(日)食育フェスタ 対馬市交流センター 訪問者：69名</p> <p>(2)住民対象の講座等の開催</p> <p>①住民対象の講座等の開催 看護の出前講座等への講師派遣等 地域のケーブルテレビを活用し、看護、介護講座を開催 ユマニチュードの内容を再検討し、DVDを作成して準備を行う ②看護の専門性を發揮するタスク・シフト/シェアの周知・拡大 施設の看護師間の交流を行う。アンケート調査を行い、問題点を把握する。 施設の場合には、問題や課題が明確にして、交流を深める。</p> <p>(3)一般住民向け広報活動の推進</p> <p>①地域のイベント等への参加協力 ②イベント時にチラシ・グッズを活用したPR活動</p> <p>(4)「看護の日・看護週間」行事による「看護の心」の普及促進</p> <p>①看護の日記念事業 5/11(土)市内の商業施設パル21にて町の保健室、「看護の日」グッズ（ハンカチやメモ）配布 日本乳がんピンクリボン運動の自己診断ちらしの配布 ②ふれあい看護体験の実施 ・7/30～31中学生の職場体験（6名）・8/9看護学生インターンシップ（3名）・11/9対馬病院フェスタ（34名）</p>

9. その他本協会の目的を達するために必要な事業（法人管理に関する事業）

事業内容
<p>1) 会員・非会員看護職に向けた広報活動の推進</p> <p>(1)会員及び看護職員への情報提供の充実</p> <p>①会員への情報周知 協会だより、ホームページ、日本看護協会発刊情報冊子等の活用 ②県協会会報への原稿提出 3回/年</p> <p>2) 会員支援に関する事業</p> <p>(1)会員向けサービスの提供</p> <p>①表彰候補者の推薦</p> <p>3) 涉外活動</p> <p>(1)重点事業に関する涉外活動</p> <p>(2)関連団体等との連携</p> <p>①関係団体の会議等への参加、情報交換、委員等の派遣</p> <p>a. 対馬地域保健医療対策協議会（R7年2/18支部長が出席） b. 地域医療構想調整会議委員（9/5対馬振興局 支部長が出席） c. 対馬市食育推進会議委員（8/20、9/26運営委員が出席） d. 対馬地域リハビリテーション連絡協議会委員（R7年1/28 支部長が出席） e. 対馬市地域包括ケア推進会議委員 f. 対馬市高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員（R7年2/28 支部長が出席） g. アドバンスケアプランニング（ACP）関連の推進に向けた関係者会議（R7年1/10 支部長ほか会員が出席、2/28保健所主催のACP研修会に支部長ほか会員が参加）</p> <p>4) 法人管理に関する事業</p> <p>(1)諸会議の円滑な運営</p> <p>①通常総会6/15（対馬支部受信会場での参加） ②理事会・支部長会議への出席 4回出席</p> <p>(2)事業等の円滑な運営</p> <p>①支部会員集会（1回/年程度）6/7 ②支部運営委員会（12回/年程度）7回開催</p>